

ILAC（市ヶ谷基礎）科目カリキュラム・マップ（2019年4月1日版）

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

- I. 人文科学分野
  - 1. 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。
- II. 社会科学分野
  - 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。
  - 2. 人間とかかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。
  - 3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。
- III. 自然科学分野
  - 1. 自然科学系の I L A C 科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。
- IV. 情報学分野
  - 1. 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。
- V. 英語分野
  - 1. 英語系科目（I L A C 科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。
    - 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力
    - 2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力
    - 3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度
- VI. 諸（外国）語分野
  - 1. 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。
- VII. 保健体育分野
  - 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
  - 2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
  - 3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。  
 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。  
 【参照先URL】 <http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu>

学習目標の分類

- 0. 導入科目分野（除情報学分野）
  - 1. 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。
- I. 人文科学分野
  - 1. 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。
- II. 社会科学分野
  - 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。
  - 2. 人間とかかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。
  - 3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。
- III. 自然科学分野
  - 1. 自然科学系の I L A C 科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。
- IV. 情報学分野
  - 1. 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。
- V. 英語分野
  - 1. 英語系科目（I L A C 科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。
    - 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。
    - 2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。
    - 3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。
- VI. 諸（外国）語分野
  - 1. 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。
- VII. 保健体育分野
  - 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
  - 2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
  - 3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

カリキュラム（科目一覧）

- 科目名凡例一覧（履修対象学部）
- ・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文
  - ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営
  - ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化
  - ★・・・法 ▲・・・人間環境
  - ・・・キャリアデザイン

科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例											
					◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目											
基礎科目		基礎科目														
0群																
基礎ゼミⅠ▽	BSP100LA	基礎ゼミ－文献検索と発表のしかた－Ⅰ▽	BSP100LA	レポートや論文を書く上で知っておくべき基礎的な事項を身につけること。論述文とは何かを理解し、論理的な文章が書けるようになること。正しく読みやすい文章が書けるようになること。	◎											
基礎ゼミⅡ▽	BSP100LA	基礎ゼミ－文献検索と発表のしかた－Ⅱ▽	BSP100LA	同上	◎											
基礎ゼミ□	BSP100LA	基礎ゼミ□	BSP100LA	【1. 情報収集力】・・・必要な情報を自分自身で判断した上で、適切に収集・蓄積できるようになること。 【2. 情報の内容理解】・・・論説文を適切に読解し、文章内容を把握した上で適切に要約できること。基礎的なデータを適切に読み解けること。 【3. 情報発信能力】・・・第三者が読んで、理解しやすく読者の力がある文章を書くことができること。また、読者力があるわかりやすい発表ができること。 【4. 議論するための基礎的な力】・・・相手の発言を聞き取り、把握した上で、自分の意見を明確に述べることができること。	◎											
情報処理演習Ⅰ▽	PRI100LA	情報処理演習Ⅰ▽	PRI100LA	webブラウザ、サーチエンジン、電子メール、ネットワークについて、しくみを理解します。文書作成ソフトWordの、書式変更、段落処理、表の作成、描画などの機能を理解し活用できるようになります。表計算ソフトExcelの、文字・数字・式の入力方法、多くの関数、基礎から応用までのグラフ作成方法、データベース機能、車検し業務、近頃曲線などの機能を理解し活用できるようになります。プレゼンテーションソフトPowerPointを利用して発表ができるようになります。							◎					
情報リテラシーⅠ◇	PRI100LA	情報リテラシーⅠ◇	PRI100LA	コンピューターを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。										◎		

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類										
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を享受することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>										
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例										
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>★・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>				◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目										
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要										
情報リテラシーⅡ◇	PRI100LA	情報リテラシーⅡ◇	PRI100LA	情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。									◎	
キャリアデザイン入門●	CAR100LA	キャリアデザイン入門●	CAR100LA	自分の頭で考え、率先して行動できるようになることを目標とします。高校までは、課題が与えられ、その解答を出されるだけ早くみつける能力が求められました。しかし社会に出ると、自ら課題をみつけて解決策を考え出し、実行する能力が求められます。大学での4年間で、課題発見、解決策立案、実行の基礎的な能力を身につけてほしいと思います。	◎									
キャリアデザイン応用●	CAR100LA	キャリアデザイン応用●	CAR100LA	同上	◎									
大学を知ろう <法政学>への招待●	IDN100LA	大学を知ろう <法政学>への招待●	IDN100LA	・法政大学の歴史と現在を、日本近現代史や世界史の流れと関連づけて理解する。 ・歴史のなかで培われてきた法政大学らしさ（法政大学憲章に凝縮されている）を考え、それを自分の将来を構想する糧とする。	◎									
I群														
日本古典文学A●	LIT100LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	神話の文学作品としての価値を理解する。 現代の日本社会、日本人にも通じる神・自然との関わりが古代からつながるものであることを理解する。 また他の領域の神話と比較することで神話の自然、人間以上の存在のイメージが、共通するものであることなどを理解する。 神話が現代のファンタジーをのみ出す源泉となっていることから、文学作品の、理解・享受・再生といった、つながり理解する。 宮中という神秘的な空間のなかで神話のなかにも現代の私たちに相通する面白みがあることを感じ取れるようになるとともに、文学史的知識を構築し、日本の文化への理解、教養を高めることを目標とする。									◎	
日本古典文学B●	LIT100LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	古文というと縁遠いものと思われがちな古典文学の中にも現代の私たちに相通する面白みがあることを感じ取れるようになるとともに、文学史的知識を構築し、日本の文化への理解、教養を高めることを目標とする。 文学作品が享受されることから新たに文学作品が生み出される関係性も見出していく。 文学作品が成立した時代の影響を受けつつ、時代をこえて理解される経緯と、その時代を理解することでより深まる作品理解・享受という2面性を踏まえ、現代の文学のありようをも視野に入れて考えたい。									◎	
日本近・現代文学A●	LIT100LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	授業の授業というところで、目標を以下のように設定します。 ・近現代日本文学に近づくこと。 ・新たな作品の読、新たな読解方法を提示すること。 ・近現代日本文学に対するより深い理解を涵養すること。 作家たちも文学を通じて、人間性にかかわるが、社会、社会といかにかかわるかを問うてきました。 わたしたちはこれらの作品を読みながら、現在を生きるわたしたち自身とわたしたちにかかわる問題について新たな視点を得たいと思います。									◎	
日本近・現代文学B●	LIT100LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上									◎	
日本文学A●	LIT100LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	日本近代文学必読のテキストを消化し、文学史の教養を身に着けた上で、それを現代のコンテキストに置き換え、再利用できるような応用的知性の獲得を目指す。また現在の状況に至った歴史的因果を理解すれば、政治や社会情勢を読み解くリテラシーが上がる。									◎	○
日本文学B●	LIT100LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	世界文学必読のテキストを消化し、文学史の教養を身に着けた上で、それを現代のコンテキストに置き換え、再利用できるような応用的知性の獲得を目指す。また現在の状況に至った歴史的因果を理解すれば、政治や社会情勢を読み解くリテラシーが上がる。									◎	○

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類口														
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。</p> <p>※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。</p> <p>【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望し、理解力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え、方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを導くするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スポーツ活動を実践することによって、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目														
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要														
外国文学A●	LIT100LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	・今日的な視点から「変身」の意義を捉え直すこと。 ・「変身」というモチーフを手がかりに、各時代の思想的・文化的背景を理解すること。 ・異文化理解能力を高める。		◎							○					
外国文学B●	LIT100LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	・文学の題材と形式の関係を知ること。 ・「旅」というモチーフを手がかりに、各時代の思想的・文化的背景を理解すること。 ・異文化理解能力を高める。		◎							○					
文章論●	BSP100LA	文章論Ⅰ●	BSP100LA	平易な短文によって段落をつくる。さらに段落をうまく連続させることで、わかりやすい実用文を構成することができる。文章とは「わかりやすく書くもの」という認識を深める。	○	◎												
言語学A●	LNG100LA	言語学Ⅰ*	LNG100LA	言語そのものに関心を持ってもらうこと。また言語学の知識が実際に外国語の学習に役立つ、ということを実感してもらうことがこの授業の目標です。		◎						○	○					
言語学B●	LNG100LA	言語学Ⅱ*	LNG100LA	「言語学」の枠組みと思考法を身につけること。		◎												
哲学Ⅰ●	PHL100LA	哲学Ⅰ●	PHL100LA	常識批判の方法としての懐疑を、主要な近現代学の基本問題を学習することを通して深めることができます。		◎												
哲学Ⅱ●	PHL100LA	哲学Ⅱ●	PHL100LA	素朴で一面的な五官中心の段階からトータルで自由な境地である絶対知へ到る道の概要を理解する。		◎												
倫理学Ⅰ●	PHL100LA	倫理学Ⅰ●	PHL100LA	・倫理学における基本的な知識を習得する。 ・倫理学的問題に対する思考力・判断力を養う。		◎												
倫理学Ⅱ●	PHL100LA	倫理学Ⅱ●	PHL100LA	同上		◎												
論理学Ⅰ●	PHL100LA	論理学Ⅰ●	PHL100LA	《知識》正しい推理のための基礎的な知識を得る。 《態度》論理的に筋道を立てて冷静に考える態度を身につける。 《技能》論理的に正しい推理能力、および論理的コミュニケーション力をつける。 《能力》問題に対して論理的に正しい判断や推理ができる。 ・論理的に筋道を違った考え方ができる。 ・論理的に相手を理解し、相手を説得できる。	○	◎												

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ○・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
論理学Ⅱ●	PHL100LA	論理学Ⅱ●	PHL100LA	《知識》現代論理学の初歩的な知識を得る。 《態度》科学的な考え方を身につける。 《技能》論理的な推理力をつける。	◎														
東洋史Ⅰ●	HIS100LA	東洋史Ⅰ●	HIS100LA	現代中国の変動を知識として学ぶだけでなく、その時代を生きた人々を描いた映画を通じて、彼らの味わってきた苦しみや社会矛盾を感得する。それにより、現在の中国の成り立ちを理解するだけでなく、政治と一人一人の生活・人生とがいかに関わっているかについても考察を深める。	◎		○												
東洋史Ⅱ●	HIS100LA	東洋史Ⅱ●	HIS100LA	歴史を辿りながら、現在の台湾が抱える国際問題、政治問題、民族問題の根源を理解し、その歴史の当事者の一人であった日本人の責任についても認識を深めていく。	◎		○												
西洋史Ⅰ●	HIS100LA	西洋史Ⅰ●	HIS100LA	近代西欧文明は、ルネサンス以来、さらにたどれば古代ローマ帝国を通じて、自らの文明を作り上げてきました。その過程を学ぶことによって、とりあえずは、西欧近代文明を追い越すべき目標と仰いできた国の国民として、西欧近代文明を相対化することができ、さらには新たな目標に向かう知的枠組みを得られることを目標とします。	◎														
西洋史Ⅱ●	HIS100LA	西洋史Ⅱ●	HIS100LA	古代世界において異彩を放つアテネ民主政の模範をなす、市民団全体の衆知を集めるという政治運営の在り方、近代市民社会の形成にあたって社会の主役となった市民たちが、ギリシア人に学びながら自分たちの置かれた諸問題にどのような形で対処してきたかという点を興味していくことによって、基本的な事象を正確に抑えようとする必要な判断を下すことのできる、市民として生きるために有用な能力を養うことを目指します。	◎														
日本史Ⅰ●	HIS100LA	日本史Ⅰ●	HIS100LA	暗記主体の高校までの日本史とは異なって、大学の日本史は、「歴史を考える」ことを目指します。この講義でも、歴史の見方、歴史の流れを総体的・論理的にとらえる方法の取得を目標としています。高校までの「歴史としての日本史」とはまったく異なる、大学での「学問としての日本史」「科学としての日本史」の魅力を十分味わってください。	◎														
日本史Ⅱ●	HIS100LA	日本史Ⅱ●	HIS100LA	土地制度の問題を視点にして、古代社会の実態にできるだけ迫ることを目標とします。またそこから現代社会の理解に通じる関心を導き出せればと考えています。	◎														
宗教論Ⅰ●	PHL100LA	宗教論Ⅰ■□	PHL100LA	・宗教の発生について、重要な概念（死、埋葬、意識、他者と自分、敵い、あの世、霊魂、神聖感など）を手がかりにして、基本を捉えていく。 ・宗教の形態について、重要な概念（自然宗教、創始宗教、啓蒙宗教、体統と教義、修行と伝道、礼拝と施設など）に注目して、基本を捉えていく。 ・既存の宗教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教、神道など）の根本理念を理解していく。	◎		○												
宗教論Ⅱ●	PHL100LA	宗教論Ⅱ■□	PHL100LA	・宗教とその外部の諸領域との根本的な違いを理解していく。 ・この根本的な違いにも関わらず、宗教がその外部の諸領域と密接にかかわってきた理由を考察していく。 ・歴史上、上記2点に関して重要な文言を残した人々の考え方を理解していく。	◎														
芸術A●	ART100LA	芸術Ⅰ■□	ART100LA	近代におけるアートの変容を、それを成立させている社会や時代思潮の変化とともに追う。その過程で、アートや近代社会、またそれらの関係を考察する力を養う。	◎														

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																	
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。          ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。          【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）          大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野          文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野          1. 社会科学領域の学の基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野          自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野          情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野          英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。          1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野          英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野          1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係能力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>				
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例																	
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>●・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>				◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																	
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要																	
芸術B●	ART100LA	芸術II■□	ART100LA	政治や経済と密接な関係をもつ現代アートのあり方と、時代の先行指標となり既存の価値に問いを投げかける現代アートのあり方を踏まえ、現代のグローバル化した世界とアートの可能性を探る思考力および洞察力を養う。																	
2群																					
法学I●	LAW100LA	法学I●	LAW100LA	法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することを目指す。具体的な到達目標は以下の通り。 ・法学の基本概念・用語を覚え、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。 ・社会の中で法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかん解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。 ・立憲主義の意義、日本国憲法の基本原則と基本構造を理解する。																	
法学II●	LAW100LA	法学II●	LAW100LA	法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することを目指す。具体的な到達目標は以下の通り。 ・法学の基本概念・用語を覚え、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。 ・社会の中で法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかん解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。 ・判例、法話、学説などの基本知識と基本原則を理解する。 ・国際法に関する基礎知識を身に付ける。																	
法学（日本国憲法）●	LAW100LA	法学（日本国憲法）●	LAW100LA	日本国憲法を中心に、法というものについての基本的かつ一般的な理解を得ることを目指すとともに、「法的社会」における様々な法関係に対して適切・妥当と考えられる対応ができるような、いわゆる「リーガルマインド（legal mind・法的思考・バランス感覚）」の涵養をも目指す。																	
経済学I★☆☆■□	ECN100LA	経済学I★☆☆■□	ECN100LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品価値の実体が人間の労働であるという考え（労働価値説）を理解できる。</li> <li>・商品交換においてなぜ貨幣が必要なのか理解できる。</li> <li>・企業の利潤はどこからどうやって発生するのかを理解できる。</li> <li>・商品や貨幣といった「モノとモノの関係」の裏側に存在する「人と人との関係」から、経済を考察することができる。</li> <li>・歴史を、生産において「人と人が取り持つ関係」の変化という観点から、考察することができるようになる。</li> </ul>																	
経済学II★☆☆■□	ECN100LA	経済学II★☆☆■□	ECN100LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GDPやマネーストック、消費者物価指数などの基本的な経済統計を理解できる。</li> <li>・通貨とは何かを理解することができる。通貨供給における銀行の役割を理解することができる。</li> <li>・資本主義経済における投資の役割を理解することができる。</li> <li>・経済のグローバル化について理解し、格差や貧困、失業など直面する課題について議論ができるようになる。</li> </ul>																	
マクロ経済学I◆	ECN100LA	マクロ経済学I◆	ECN100LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マクロ経済の重要なデータの動きを読み取ることができる。</li> <li>・短い期間での経済変動の要因を理解することができる。</li> <li>・こうした期間で有効となる政策と無効となる政策を知ることができる。</li> </ul>																	
マクロ経済学II◆	ECN100LA	マクロ経済学II◆	ECN100LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経済モデルの供給サイドの動きを理解することができる。</li> <li>・経済政策の効果を本モデルで考えることができる。</li> <li>・経済主体の期待形成と政策効果の関係性について考察することができる。</li> <li>・経済成長の源泉が何であるかを理解することができる。</li> </ul>																	
心理学I●	PSY100LA	心理学I●	PSY100LA	本講義では、フロイト、ユング、エリクソンの理論をとりあげ、それぞれがこころの働きや発達をどのように捉えているかを解説していく。また、「心理学I」を連続履修することにより、さまざまな理論がどのような立場で互いを批判し、展開してきたかを心理学の大きな流れとして捉えてもらえればと考えている。したがって、「心理学I」「心理学II」を連続履修することを期待する。このような授業を通して、最終的には日常の経験を心理学の理論に照らして考えてみる習慣を身につけてもらいたいと考えている。																	
心理学II●	PSY100LA	心理学II●	PSY100LA	本講義では、「心理学I」で取りあげたこころの理論とは大きく立場の異なる行動主義心理学、ゲシュタルト心理学、人間性の心理学をとりあげ、それぞれの理論がこころをどのように捉えているかを解説していく。また、人間発達のモデルとしてのフロイト理論を紹介し、日常生活における応用についても考えていく。このような授業を通して、最終的には日常の経験を心理学の理論に照らして考えてみる習慣を身につけてもらいたいと考えている。																	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
地理学Ⅰ●	GE0100LA	地理学Ⅰ●	GE0100LA	本講義は、受講生がロシアおよびEUを中心としたヨーロッパの地誌を理解することにより、高校地理の学習範囲を基本とした当該国や地域についての地理的知識と考え方を身につけることを目標とします。													◎		
地理学Ⅱ●	GE0100LA	地理学Ⅱ●	GE0100LA	本講義では、現在のロシア連邦およびEU諸国の空間的範囲を基本としつつ、さらに歴史地理的な視点も取り入れながら、当該諸国の政治・経済・社会・文化を学びます。これらの学習から、受講生が日本だけの視野に閉じこもらないように、現代世界を見渡す国際的な視野を身につけることを目標とします。														◎	
政治学Ⅰ●	POL100LA	政治学Ⅰ●	POL100LA	「政治学」とは社会科学の大きな柱を形成する学問分野です。この分野に関わる内容を抜いながら蓄えた論理的思考をもとに、今後自分の専門分野に応用し実践していくことを目指します。														◎	
政治学Ⅱ●	POL100LA	政治学Ⅱ●	POL100LA	同上														◎	
社会学Ⅰ●	SOC100LA	社会学Ⅰ●	SOC100LA	・社会学分野の基本的な概念や理論を学習する。 ・社会現象を、構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を身につける。 ・現代社会をその成り立ちから理解する。														◎	
社会学Ⅱ●	SOC100LA	社会学Ⅱ●	SOC100LA	同上														◎	
文化人類学●	CUA100LA	文化人類学Ⅰ●	CUA100LA	グローバル化の現在、文化人類学を学ぶ上で、人種・民族へのスタンスの取り方は最も基本的な課題である。日本においては日常あまり意識することのないこの問題を世界の事例を通して学び、視野を広げることを目指す。														◎	
社会思想Ⅰ●	SOS100LA	社会思想Ⅰ●	SOS100LA	本年度のこの「社会思想Ⅰ」では、一般的な社会思想史の通史ではなく、とくに、理想社会論（ユートピア論）を主題にして、過去から現代までの社会思想をたどります。代表的なユートピア論について理解を深めて、人類がこれまでに、どのように、どのような理想社会を論じてきたかを理解し、ユートピアを論じることの意義について検討することがこの授業の到達目標となります。														◎	
社会思想Ⅱ●	SOS100LA	社会思想Ⅱ●	SOS100LA	本年度のこの「社会思想Ⅱ」では、2011年3月の東日本大震災以後に顕在化した、さまざまな社会的・政治的課題を取り上げて、そこに含まれる社会思想的・社会論的問いを検討します。たとえば、震災後には、自主避難者に対する公的支援や、原発事故に対する対応等において「どこまでがわれわれみんなの問題（国費を用いて解決すべき課題）か」「どこまでが国や自治体の管轄範囲か」が問われていますが、これらは、公共性とはそもそもなにか、という原理的な検討なしには解答することが難しい問いです。														◎	
3群																			
教養数学A●	MAT100LA	教養数学A●	MAT100LA	整数の理論、代数系で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。														◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類										
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性などを、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。			
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目										
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要										
教養数学B●	MAT100LA	教養数学B●	MAT100LA	グラフ理論、組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。									◎	
基礎数学Ⅰ●	MAT100LA	基礎数学Ⅰ●	MAT100LA	数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。また、微分を扱う秋学期科目「基礎数学II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。									○ ◎	
基礎数学Ⅱ●	MAT100LA	基礎数学Ⅱ●	MAT100LA	基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。また、より進んだ微積分を扱う「発展数学Ⅰ・II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。									○ ◎	
入門物理学A●	PHY100LA	原子から宇宙までⅠ●	PHY100LA	・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。 ・我々の身の回りで起こっている力や運動に関係した現象を支配している法則（ニュートンの法則）について理解し、その簡単な応用ができる。									◎	
入門物理学B●	PHY100LA	原子から宇宙までⅡ●	PHY100LA	・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。 ・熱、光といった身の回りに日常的に起こっている現象を、巨視的（マクロ）、微視的（ミクロ）それぞれの立場から理解し、その背後にある基本的法則を理解する。									◎	
入門生物学A●	BIO100LA	生命科学Ⅰ●	BIO100LA	本授業の到達目標は2つあります。第一に、「生物学」という言葉に贈ること無く、自分で調べる力を身につけることです。今まで「生物学」は判らないと、最初からあきらめている状態から、調べれば判りそうだという段階までステップアップする事をめざします。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、自然と文章力と論理的思考が身につくように授業計画は組み立てられています。										○ ◎
入門生物学B●	BIO100LA	生命科学Ⅱ●	BIO100LA	本授業の到達目標は2つあります。まず、「生物学」という言葉に贈ること無く、自分で調べる力を身につけることです。今まで「生物学」は判らないと、最初からあきらめている状態から、調べれば判りそうだという段階までステップアップする事をめざします。また、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、自然と文章力と論理的思考が身につくように授業計画は組み立てられています。										◎
入門化学A●	CHM100LA	物質と環境Ⅰ●	CHM100LA	現代文明は膨大なエネルギー消費のうえに成立している。しかしながら、一人当たりのエネルギー消費量の増加および世界人口の増加によって、現在の主要エネルギー資源である化石燃料は枯渇の危機に瀕している。物質と環境Ⅰでは核分裂エネルギー（原子力発電）について理解することを目標とする。									○ ◎	
入門化学B●	CHM100LA	物質と環境Ⅱ●	CHM100LA	現代文明は、主に石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料の消費に支えられている。この化石燃料の消費が多くなる環境問題の原因となっている一方で、化石燃料は我々の生活に不可欠なほとんどの化学物質の原料でもある。物質と環境Ⅱでは文明の鍵である化石燃料について理解することを目標とする。									○ ◎	
サイエンス・ラボA●	NAS100LA	サイエンス・ラボA●	NAS100LA	自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。										◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																	
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。			I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。		II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。		III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。		IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。		V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。		VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。		VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）																					
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ★・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン																					
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																
サイエンス・ラボB●	NAS100LA	サイエンス・ラボB●	NAS100LA	同上																	
天文学A●	ASR100LA	天文学Ⅰ■□	ASR100LA	この授業によって、現在までに知られている様々な天体の姿を理解することができる。																	
天文学B●	ASR100LA	天文学Ⅱ■□	ASR100LA	同上																	
科学史A●	SHS100LA	科学史Ⅰ■□	SHS100LA	今日の科学的なものの見方考え方が、その基礎の多くをいかに古代ギリシアに負っているかを理解することをめざす。																	
科学史B●	SHS100LA	科学史Ⅱ■□	SHS100LA	現代科学の基礎をなすデカルトの二元論哲学とニュートンの力学によって確立された機械論的自然観の基本的意味を歴史的に理解することをめざす。																	
5群																					
スポーツ総合演習●	HSS100LA	スポーツ総合演習●	HSS100LA	・身体活動の意義や役割について種々な視点から理解を深める。 ・豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。 ・自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。 ・卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。 ・就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。																	◎
スポーツ総合演習S●	HSS100LA	スポーツ総合演習S●	HSS100LA	同上																	◎
リベラルアーツ科目 0群																					
法政学の探究LA●	IDN200LA	法政学の探究A●	IDN100LA	「法政学」及び「法政大学史」について自分なりの視点で語り、記述できるようになること。また、法政大学を閉ざされた存在としてではなく、開かれたものとして捉えられる柔軟な視野を養うことを目標とします。																	◎
法政学の探究LB●	IDN200LA	法政学の探究B●	IDN100LA	法政大学はその創立者たちが著き法政学であり、その後の歴史においても学生たちの主体的な活動によって発展していった大学です。かつての法大生の先進的な取り組みに学ぶことによって、法大生としての主体性、批判的な視野や独立性、そして、多様性と「他者」に開かれた精神を涵養することを目的とします。																	◎



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
情報処理演習Ⅱ▽	PRI200LA	情報処理演習Ⅱ▽	PRI100LA	<p>文書作成ソフトWordにおいて、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、縦読み、目次、脚注、引用文書、索引などの機能を獲得します。また、高画質印刷に必要な技術として、複製、コンスタント・バインド付などの機能を獲得します。</p> <p>統計ソフトExcelにおいて、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。</p> <p>データベースソフトACCESSの使い方を体験します。</p> <p>HTMLによるホームページ作成を通じて、情報の表現、画面の作成と評価、ネット上の著作権や肖像権、ネットワークの仕組みの基本などを理解します。</p>	◎														
I群																			
日本文学と文化LA●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵巻に関する基礎的な知識を習得する。</li> <li>『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。</li> <li>平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。</li> <li>現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されたか、源氏絵の様相を理解する。</li> </ul>	◎														
日本文学と文化LB●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>説話文学の特質について理解する。</li> <li>絵巻に関する基礎的な知識を習得する。</li> <li>能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。</li> </ul>	◎														
日本文学と文化LC●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	<p>文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。</p>	◎ ○														
日本文学と文化LD●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上	◎ ○														
日本文学と文化LE●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	<p>授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の物語がどのような土壌で生まれ、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることが目標としている。特に『昔話』の一言では括れない、豊潤な世界を体感してほしい。</p>	◎														
日本文学と文化LF●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	<p>授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の鬼がどのような形成され、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることが目標としている。昔話の本質を知り、それを後代へ伝えてほしい。</p>	◎														
日本文学と文化LG●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	<p>アニメーション作品を分析的に解説し、作品の仕掛けや表現方法や物語の作り方について、自分の言葉で説明できるレベルを目指します。関連資料を参照したり、さまざまな意見に目を通したり、作品のモデルとなった場所に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について学び、深い理解へと誘い、対象を「論じる力」を磨きます。</p>	◎														
日本文学と文化LH●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	<p>現代日本文学の多様なジャンルの小説を読み、作品の中から議論の礎となる要素を抽出し、分析することで、家族関係や社会システム、個人の生き方、性、死、ジェンダー、歴史などの問題について考える力を養います。映像表現と言語表現を比較対照することで、メディア固有の表現や相互接続性についても学びます。</p>	◎														
外国文学と文化LA●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	<p>芸術作品を観賞しつつ、批評、分析する手法を身につけます。春学期に設定されたこの科目では、基礎として小論文の書き方を学びます。この授業を履修することで、報告、論述文を書く基礎的な力がつきます。また出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識を身につけることができます。</p>	◎ ○														

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを導くための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>																
カリキュラム（科目一覧）				<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>																
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
外国文学と文化LB●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	芸術作品を観賞しつつ、さらには批評、分析する手法を身につけます。この授業を履修することで、報告、論述文を書く基礎的な力がつきます。また出版、メディア、教育などの分野で働くための基礎的な知識を身につけることができます。	○	◎														
外国文学と文化LC●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。 ・近体詩の規則を理解し、それによって漢詩の実作をする。 ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。																
外国文学と文化LD●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上																
外国文学と文化LE●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。																
外国文学と文化LF●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上																
文学と社会LA●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。 ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。		◎														
文学と社会LB●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上		◎														
文学と社会LC●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。 くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。		◎														
文学と社会LD●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	くずし字で書かれた文章（平仮名の部分）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。各自の担当部分をすべて翻訳すること、どんなことについて書かれているかについて考察し、テキスト全体を理解することが目標になります。		◎														
文学と社会LE●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。		◎														

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。  ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。  【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）  大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野  文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野  1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野  自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野  情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野  英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。  1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈で対峙する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野  英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野  1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）																			
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>																			
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目														
文学と社会LF●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。	◎	○													
音声学L●	LNG200LA	言語学Ⅱ＊	LNG100LA	この授業では、「音声学」の記述方法であるIPAの方法論的な考え方を身につけ、IPAを音声化したり、実際の音声をIPAによって記述するための基礎的な技能を訓練することを目的とします。	◎					○									
哲学Ⅰ●	PHL200LA	哲学Ⅰ●	PHL100LA	学生は、まずは哲学のオーソドックスな基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の過程を知る事ができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での、最も大切な入り口を入れることができるだろう。哲学はあらゆる学問の基礎である。何を学ぶにしても、哲学はその基盤に問わなければならないだろう。それは学問の、とりわけ、争い、最大なる権限を持つその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再認識できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが争いによって生かされるためにどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものだから。		◎													
哲学Ⅱ●	PHL200LA	哲学Ⅱ●	PHL100LA	西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学の対比を通して、キリスト教とその形成の歴史について、行わずに自ら考える態度を獲得することができるだろう。偉大な芸術は、人間の弱さ、悔いなきことを見つけようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」ことと「知る」こととの緊張関係において、哲学は理想の境を画定していない。 また、幸福とは何か？どうしたらわれわれは幸福な人生を送ることができるのか？西洋キリスト教・ローマの神話をもとめて、私たちが幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知ることがいかに大事か、真の幸福の源が哲学にあることが、理解されるだろう。善か悪こそが、私たちが不幸の原因なのだから。		◎													
倫理学Ⅰ●	PHL200LA	倫理学Ⅰ●	PHL100LA	・「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。 ・「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。 ・「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べる事ができる。 ・「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。		◎				○									
倫理学Ⅱ●	PHL200LA	倫理学Ⅱ●	PHL100LA	同上		◎				○									
論理学Ⅰ●	PHL200LA	論理学Ⅰ●	PHL100LA	・新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、的確な要約を行うことができる。 ・上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。	○	◎													
論理学Ⅱ●	PHL200LA	論理学Ⅱ●	PHL100LA	・統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。 ・与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。	○	◎													
東洋史Ⅰ●	HIS200LA	東洋史Ⅰ●	HIS100LA	中国近代（おもに清・清・真の伝統時代から、清・清・清・清）の社会・思想の形成過程について理解することができる。また、そのような社会や思想を形成した上で、一掃されていく中国近代の「二元論」の存在も明らかになる。「二元論」の視点から中国近代の政治的変遷のメカニズムが理解できることになる。 また、清で中国近代に押し込まれている中国近代の歴史なども取り上げるので、これまでに学んだ知識が活かされる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも漢文の読みかたがわかるように、授業では漢文を音読みして、漢文の意味を説明しながら読みかたを教える。 最終的には漢文を音読みするが、試験では漢文で読んだ漢文資料を利用して自分自身で中国近代の政治的変遷のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。			◎												
東洋史Ⅱ●	HIS200LA	東洋史Ⅱ●	HIS100LA	中国近代（おもに清・清・真の伝統時代から、清・清・清・清）の社会・思想の形成過程について理解することができる。また、そのような社会や思想を形成した上で、一掃されていく中国近代の「二元論」の存在も明らかになる。「二元論」の視点から中国近代の政治的変遷のメカニズムが理解できることになる。 また、清で中国近代に押し込まれている中国近代の歴史なども取り上げるので、これまでに学んだ知識が活かされる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも漢文の読みかたがわかるように、授業では漢文を音読みして、漢文の意味を説明しながら読みかたを教える。 最終的には漢文を音読みするが、試験では漢文で読んだ漢文資料を利用して自分自身で中国近代の政治的変遷のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。			◎												

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																	
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>																	
カリキュラム（科目一覧）																					
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>																					
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																
西洋史LA●	HIS200LA	西洋史Ⅰ●	HIS100LA	学生が古代ギリシアの運動競技についてを具体的に考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とする（つまり、試験で問われるところでもある）。	◎																
西洋史LB●	HIS200LA	西洋史Ⅱ●	HIS100LA	同上	◎																
日本史Ⅰ●	HIS200LA	日本史Ⅰ●	HIS100LA	教科書を通して学んだ歴史は、年号や用語を丸ごと覚えるなど、苦手だ、面白くないといったイメージがあります。しかし、本来、歴史は様々な事象を、資料を通して読み解いていく創造する学問です。本講座は、特に豊富な資料を有する近世という時代を取り上げ、具体的な事例をあげながら、楽しく歴史を学び、考える力を養います。	◎																
日本史Ⅱ●	HIS200LA	日本史Ⅱ●	HIS100LA	従来、近世は封建的な身分制社会のもとに四民が嚴格に編成されていました。しかし、庶民の文化や文芸に触れることで、これまで教科書で学んできた時代とは別に、そこには豊かな歴史イメージを膨らませることが出来ます。本講座では、当時の人々の生活を様々な資料を読み解きながら、歴史を学ぶ視点や方法論を培います。	◎																
宗教論Ⅰ●	PHL200LA	宗教論Ⅰ■□	PHL100LA	レヴェナスの思想の概要を理解し、説明できる。現代ヨーロッパにおける宗教と思想の関係を理解できる。	◎																
宗教論Ⅱ●	PHL200LA	宗教論Ⅱ■□	PHL100LA	レヴェナスの思想における宗教性の問題を理解し、説明できる。近現代ヨーロッパ思想におけるユダヤ性の問題を理解する。	◎																
2群																					
経済学LA●	ECN200LA	経済学Ⅰ★☆◇■□	ECN100LA	18世紀後半に誕生した経済学的基本的観念は、そのとどきの時代環境とともに変化してきたのであって、それを学ぶことによって日本の「失われた20年」の背景を導くことができる。なぜ、20年にわたるデフレが続いているのか、ゼロ金利は何を意味しているのか、トランプ大統領誕生によりグローバル化は曲がり角を迎えているのか等の問いを、自ら考える能力を身に付けることができる。秋学期の「経済学LB」を合わせて受講することで、春学期の到達目標がさらに高まる。	○	◎															
経済学LB●	ECN200LA	経済学Ⅱ★☆◇■□	ECN100LA	「近代経済学の再検討」を通じて、21世紀の世界経済が抱える問題の背景、原因を考えることができる。さらに、「近代とはいかなる時代か」を考えることができるようになる。春学期の「経済学LA」で到達目標としたことをさらに高めることができる。	○	◎															
心理学LA●	PSY200LA	心理学Ⅰ●	PSY100LA	行動や出来事の原因の探り方、そのとき起る感情などを考えることが目標です。「何を覚えるか」ということよりも、さまざまな見方や考え方が、行動ができるようになることをめざします。知識を身につけるとともに、潜在的な可能性を生かす経験を踏まえ、一時的な決断のつけや思い込みから解放され、いつも新鮮で柔軟な態度をとる選択力・キャリア力・想像力を養います。目標（目的・結果）の意義を明確にしたうえで、具体的な方法（調査・実験、観察・検証・検証）によって観察し、結果（考察）に対して的確な意見を述べるようになることができます。	◎																
心理学LB●	PSY200LA	心理学Ⅱ●	PSY100LA	他者と自己が結びなす対人関係、そこから生じる葛藤やストレスへの対応などを考えることが目標です。「何を覚えるか」ということよりも、さまざまな見方や考え方が、行動ができるようになることをめざします。知識を身につけるとともに、潜在的な可能性を生かす経験を踏まえ、一時的な決断のつけや思い込みから解放され、いつも新鮮で柔軟な態度をとる選択力・キャリア力・想像力を養います。目標（目的・結果）の意義を明確にしたうえで、具体的な方法（調査・実験、観察・検証・検証）によって観察し、結果（考察）に対して的確な意見を述べるようになることができます。	◎																

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
地理学LA●	GE0200LA	地理学Ⅰ●	GE0100LA	本授業では、世界の都市圏に注目し、古地図と現在の地図を比較することから、都市の立地環境や都市形成の歴史を考察します。各都市における各地域の文化や遺産の在り方、現代社会と都市の関係について、その国や自治体の政策や都市に生活する人々の視点からもみていきます。本授業を通して、様々な地域の歴史・文化・経済・社会を総合的に捉え、単なる知識の吸収ではなく、地図をもとに地理学的に考える力を養うことを目標とします。															
地理学LB●	GE0200LA	地理学Ⅱ●	GE0100LA	本授業では、日本各地の都市圏に注目し、古地図と現在の地図を比較することから、都市の立地環境や都市形成の歴史を考察します。都市における各地域の文化や遺産の在り方、現代社会と都市の関係について、自治体の政策や都市に生活する人々の視点からもみていきます。本授業を通して、様々な地域の歴史・文化・経済・社会を総合的に捉え、単なる知識の吸収ではなく、地図をもとに地理学的に考える力を養うことを目標とします。また、日本らしい風景とは何か、を考えるために、日本の遺産全般について、今後の保存に関する課題についても考えます。															
地理学LC●	GE0200LA	地理学Ⅰ●	GE0100LA	食料、人口、貧困問題などを手がかりにして、現代世界の地球・社会問題を学んでいきます。それら問題が相互に関連し、問題を如何に複雑化させているのか、その構造を学んでいきます。															
地理学LD●	GE0200LA	地理学Ⅱ●	GE0100LA	日本の地域性、地域格差、地域開発、公害問題を手がかりにして、日本の地域問題・社会問題を学んでいきます。															
政治学LA●	POL200LA	政治学Ⅰ●	POL100LA	20世紀後半のUSの社会と政治について知識を得ること。 イスラエルとパレスチナに関する知識を得ること。 ポプ・ディランを中心にしながら20世紀のポピュラー・ミュージックに関する基礎知識を得ること。 以上を踏まえて、政治について考察を深めること。															
政治学LB●	POL200LA	政治学Ⅱ●	POL100LA	第二次世界大戦後からEU離脱国民投票にいたる時期のUK政治に関する知識を得ること。 UKの状況に対してミュージシャンがいかなる対応をしたかに関する知識を得ること。 以上を踏まえて、政治について考察を深めること。															
社会学LA●	SOC200LA	社会学Ⅰ●	SOC100LA	時代意識の反映物としてさまざまな現代文化を解釈することで、社会を理解するための1つの方法を学んでいきます。															
社会学LB●	SOC200LA	社会学Ⅱ●	SOC100LA	同上															
社会学LC●	SOC200LA	社会学Ⅰ●	SOC100LA	・私たちが日々行っている行為の意味と前提が理解できる。 ・社会秩序を維持、または変更した基本原理について理解できる。 ・社会現象の記述に用いられる基礎概念を文脈に沿って正しく理解できる。 ・最終的には、社会や時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付ける（＝教養を身に付ける）。															
社会学LD●	SOC200LA	社会学Ⅱ●	SOC100LA	・「近代」とよばれる歴史的な変化の一面を思想と制度の両面で把握する。 ・「世俗化論」・「合理化論」の相互関連を把握する。 ・「リスク社会」としての一面をもつ現代社会の特徴を理解する。 ・最終的には、社会や時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付ける（＝教養を身に付ける）。															

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																							
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>			<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。ものの見方・考え、方、探求の方法、表現力を養う。</p>			<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>			<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>			<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>			<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>			<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを司業とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例																							
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ◆・・・法・文・経営 ◆・・・経営            ▼・・・法・文・経営 ◆・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>																							
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要																							
文化人類学L●	CUA200LA	文化人類学II●	CUA100LA	グローバル化の現在、文化人類学を学ぶ上で、人種・民族へのスタンスの取り方は最も基本的な課題である。日本においては日常あまり意識することのないこの問題を世界の事例を通して学び、視野を広げることを目指す。																							
社会思想LA●	SOS200LA	社会思想I●	SOS100LA	近代の骨格を作る思想家たちのものの見方、考え方を身につけること。そのうえで、歴史的思考について学び、思想家たちの目を通して、現在わたしたちが生きている現代社会を考えることができるようになることを到達目標とします。																							
社会思想LB●	SOS200LA	社会思想II●	SOS100LA	各思想家たちのものの見方、考え方を身につけること。そのうえで、世紀転換期の歴史を理解し、もう一つの転換期である現代社会を彼らの目を通して考えることができるようになることを到達目標とします。																							
3群																											
数学特講LA●	MAT200LA	—	—	次のような計算ができ、さらにそれを応用することができる。 ・行列演算と行列式計算 ・逆行列の導出																							
数学特講LB●	MAT200LA	—	—	次のような計算ができ、さらにそれを応用することができる。 ・連立一次方程式の解法 ・固有値と固有ベクトル																							
発展数学I●	MAT200LA	発展数学I●	MAT200LA	いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、2変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。																							
発展数学II●	MAT200LA	発展数学II●	MAT200LA	与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。																							
教養物理学LA●	PHY200LA	原子から宇宙までI●	PHY100LA	・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。 ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。 ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。																							
教養物理学LB●	PHY200LA	原子から宇宙までII●	PHY100LA	2018年度休講																							
教養生物学LA●	BI0200LA	生命科学II●	BI0100LA	日々報道される生命科学に関連するニュースを自力で読めるようになることを目指す。																							

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類												
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。</p> <p>※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。</p> <p>【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）</p> <p>大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野</p> <p>文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望し、洞察力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野</p> <p>1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野</p> <p>自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野</p> <p>情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野</p> <p>英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。</p> <p>1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野</p> <p>英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野</p> <p>1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを司導するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>												
				カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要												
教養生物学LB●	BI0200LA	生命科学 I ●	BI0100LA	生物学の見方を通して、生物としての「私」とはどのようなものか理解できる。なぜ多様な生物が存在可能なかが理解できる。その多様性の中に見られる共通性についても理解できる。なぜ多様性が大切か理解できる。以上の理解をもとに、自分の生き方・現代人の生き方を批判的に見直して見ることが出来る。							◎					
教養生物学LC●	BI0200LA	生命科学 II ●	BI0100LA	自分の体の理解を通して、自分自身を理解できる。								◎				
教養生物学LD●	BI0200LA	生命科学 I ●	BI0100LA	2018年度休講								◎				
教養生物学LE●	BI0200LA	生命科学 II ●	BI0100LA	2018年度休講								◎				
教養生物学LF●	BI0200LA	生命科学 I ●	BI0100LA	2018年度休講								◎				
教養化学LA●	CHM200LA	物質と環境 I ●	CHM100LA	原子カエネルギーとは何か、利用に際してどう問題があるのかという知識が身につく。石油や石炭を燃やしてどのように電気に変換されるのか？温暖化とどうリンクしているのかを理解できる。自然エネルギーが抱える問題は何か？水素を利用した燃料電池の特徴に関する知識が得られる。また、現状残されている課題を知ることが出来る。						○		◎				
教養化学LB●	CHM200LA	物質と環境 II ●	CHM100LA	過去の公害問題の根拠を理解する。生命に関与する物質がどう分子構造をもち、どのような働きを持って機能しているかを理解することができる。例えば、食事を取って、それがエネルギーに変換される、あるいは、身体そのものに蓄積する仕組みを理解できる。体の中の物質の認識の仕組みを理解できる。例えば、免疫反応の仕組みや、でんぷんを消化でき、セルロースを消化できない理由を理解できる。合成物が生命に与える影響を理解できる。									◎			
4群																
ドイツの文化と社会IA●	ARSA200LA	ドイツの文化と社会 I *	ARSA200LA	ドイツの文化や社会についての知見を広げることができる。												◎
ドイツの文化と社会IB●	ARSA200LA	ドイツの文化と社会 II *	ARSA200LA	同上												◎
ドイツ語の世界IA●	ARSA200LA	ドイツ語の世界 I ▽	ARSA100LA	・「文学名所」というテーマを手がかりに、各時代の思想的・文化的背景を理解すること。 ・映画の解釈方法を身につける。 ・異文化理解能力を高める。												◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え、方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
ドイツ語の世界LB●	ARsA200LA	ドイツ語の世界Ⅱ▽	ARsA100LA	・「シンボルキャラクター」というテーマを手がかりに、各時代の思想的・文化的背景を理解すること。 ・映画の解釈方法を身につける。 ・異文化理解能力を高める。										◎					
フランスの文化と社会LA●	ARsA200LA	フランスの文化と社会Ⅰ*	ARsA200LA	この授業は、フランスに関する知識と関心を深めることを目標とします。観光や輸出、マスメディアなどの分野で働くために役に立つ基礎知識を学ぶことができます。またフランス流の考え方を学ぶことを通じて、様々な現代社会の問題に向き合うためのヒントを得ます。										◎					
フランスの文化と社会LB●	ARsA200LA	フランスの文化と社会Ⅱ*	ARsA200LA	同上										◎					
フランス語の世界LA●	ARsA200LA	フランス語の世界Ⅰ▽	ARsA100LA	それぞれが豊かな広がりを持つ映画、音楽、美術、建築などの芸術文化を通じて、フランス語圏文化の多様さへの理解を深めることによって、多様な価値観を受容することを目的とします。										◎					
フランス語の世界LB●	ARsA200LA	フランス語の世界Ⅱ▽	ARsA100LA	海外県・海外領土なども含めたフランス国内の地方文化、ならびにフランス以外のフランス語圏の文化、そしてフランス社会に関する学習を通じて、ア・プリオリに捉えられてきた「フランス文化」を内部と外部から照射することで解体し、フランス語圏文化の多様さへの理解を深めることによって、多様な価値観を受容することを目的とします。										◎					
フランス生活文化論LA●	ARsA200LA	—	—	ファッションあるいは風俗に関わるフランス語の歴史を学ぶことができます。また服飾表現の豊かさを知ることにより、現代ファッションを批評するちからを養うことができます。さらに服飾文化の分析をいかに行い、そこからなにがわかるのか、ファッションをテーマとして研究する際の資料の探し方、方法のあり方を身につけることができます。										◎					
フランス生活文化論LB●	ARsA200LA	—	—	同上										◎					
ロシアの文化と社会LA●	ARsA200LA	ロシアの文化と社会Ⅰ*	ARsA200LA	この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張を短時間のうちに適切な文章でまとめる力をレビューシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。										◎					
ロシアの文化と社会LB●	ARsA200LA	ロシアの文化と社会Ⅱ*	ARsA200LA	同上										◎					
ロシア語の世界LA●	ARsA200LA	ロシア語の世界Ⅰ▽	ARsA100LA	2018年度休講										◎					



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシ能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
ロシア語の世界LB●	ARSa200LA	ロシア語の世界Ⅱ▽	ARSa100LA	2018年度休講									◎
中国の文化と社会LA●	ARSe200LA	中国の文化と社会Ⅰ▽	ARSe200LA	中国の文化と社会についての理解を深めます。									◎
中国の文化と社会LB●	ARSe200LA	中国の文化と社会Ⅱ▽	ARSe200LA	同上									◎
中国の文化と社会LC●	ARSe200LA	中国の文化と社会Ⅰ▽	ARSe200LA	1. 中国の演劇作品に描かれる時代背景や社会情勢を理解することができる。 2. 作品を通じて理解したことや疑問点を整理し、まとめることができる。 3. 自国の文化との相違点について比較考察できる。 4. これまでの日中交流の歴史を回顧し、その上で今後の自分たちの時代の日中関係についても各自の考えを持ち、述べるることができる。									◎
中国の文化と社会LD●	ARSe200LA	中国の文化と社会Ⅱ▽	ARSe200LA	同上									◎
中国語の世界LA●	ARSe200LA	中国語の世界Ⅰ▽	ARSe100LA	中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、中国語ということばを通してみえる世界が、日本語を通してみる世界とはいかに違うか、を実感してもらえればと思います。また、ことばについて知ることで、我々自身についても新しい発見をしたり、新しいもの見方ができるような授業を心がけます。									◎
中国語の世界LB●	ARSe200LA	中国語の世界Ⅱ▽	ARSe100LA	中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、漢字という文字体系が、中国語や中国的思考法といかに結びついているのか、を理解してもらえればと思います。									◎
スペイン語の世界LA●	ARSa200LA	スペイン語の世界Ⅰ▽	ARSa100LA	本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。とくに、言語・地域・文化を軸に、スペインやスペイン語圏の社会の多様性を学ぶことにより、既存の枠組みを再考し、多様性を有する社会のあり方について捉えなおすきっかけを提供したい。									◎
スペイン語の世界LB●	ARSa200LA	スペイン語の世界Ⅱ▽	ARSa100LA	本講義では、また、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。とくに、言語・地域・文化を軸に、スペインやスペイン語圏の社会の多様性を学ぶことにより、既存の枠組みを再考し、多様性を有する社会のあり方について捉えなおすきっかけを提供したい。									◎
朝鮮の文化と社会LA●	ARSe200LA	朝鮮の文化と社会Ⅰ*	ARSe200LA	春学期には、朝鮮・韓国に関する入門書のテキストに沿って、朝鮮・韓国の文化と社会を概観する。									◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え、方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
朝鮮の文化と社会LB●	ARSe200LA	朝鮮の文化と社会Ⅱ*	ARSe200LA	秋学期には、主に現代韓国の文化と社会について、ひと通り概観することが到達目標である。									◎
日本の文化と社会LA●	ARSe200LA	日本の文化と社会Ⅰ*	ARSe200LA	・テーマに関する資料を調べ、わかりやすく発表することができる。 ・討論の中で自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 ・異文化の人と話す中で相手の文化をよく理解し、自国の文化との違いをつかむことができる。									◎
日本の文化と社会LB●	ARSe200LA	日本の文化と社会Ⅱ*	ARSe200LA	同上									◎
日本語の世界LA●	ARSe200LA	日本語の世界Ⅰ▽	ARSe100LA	・日本語の随筆(ずいひつ)を読み、正しく要約することができる。 ・日本語で自国の事情を説明したり、自分の意見を言うことができる。									◎
日本語の世界LB●	ARSe200LA	日本語の世界Ⅱ▽	ARSe100LA	・テーマについて資料を調べ、わかりやすく発表することができる。 ・話し合いの中で自分の知識や考えをわかりやすく伝えることができる。 ・異文化の人と話し合う中で、相手の文化をよく理解し、自国の文化との違いをつかむことができる。									◎
5群													
健康の科学LA●	HSS200LA	健康の科学Ⅰ▽	HSS100LA	・青年期～中年期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。 ・学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。									○
健康の科学LB●	HSS200LA	健康の科学Ⅱ▽	HSS100LA	・高齢期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。 ・学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。									○
外国語科目													
EnglishⅠⅠ▽	LANe100LA	EnglishⅠⅠ▽	LANe100LA	速読による多読を基本とし、大意を捉えて内容を咀嚼する思考力、批判力を養います。また、さまざまな文章を読むことのできる語彙力を身につけます。									◎
EnglishⅠⅡ▽	LANe100LA	EnglishⅠⅡ▽	LANe100LA	速読による多読を基本とし、大意を捉え咀嚼する力を養います。また、多岐にわたるテーマの文章を読むことで、さまざまな分野の語彙・表現を身につけます。									◎
English2ⅠⅠ▽	LANe100LA	English2ⅠⅠ▽	LANe100LA	受講生は、短いものであれば、ある程度正確な英文を書けるようにする。また、身の回りのことについて、口頭で英語で表現できるようにする。									◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
English2 II ▽	LANe100LA	English2 II ▽	LANe100LA	学生は身の回りの状況を英語で表現できるようにする。短いものであれば、英語でプレゼンテーションできるようにする。	○	○													
English3 I ▽	LANe200LA	—	—	Students will be able to grasp the meaning of utterances (written/spoken) and express themselves verbally or in written forms. At the same time, they should attain a deep understanding of the issues that are chosen as class material, which shall result in the ability to contextualize Japan within diverse frameworks. Vocabulary building and critical thinking skills will also be promoted.	○	○													
English3 II ▽	LANe200LA	—	—	同上	○	○													
Academic English I ★	LANe100LA	Academic English I ★	LANe100LA	The goal of the course is to help students to improve their academic English skills for success in university studies through the reading and discussion of materials about the history, government, culture, and values of American people.	○	○													
Academic English II ★	LANe100LA	Academic English II ★	LANe100LA	同上	○	○													
英語1◇	LANe100LA	英語1◇	LANe100LA	受講生は比較的難しい英文でも臆さず読めるようにする。専門的な用語も含め、新聞記事や論文などで頻繁に使われる基礎的な英語表現・語句を習得する。	○	○													
英語2◇	LANe100LA	英語2◇	LANe100LA	The aim of this course is for students to develop their English communicative skills necessary in dealing with various situations. At the same time, you should attain a deep understanding of the issues that are chosen as class material. Vocabulary building and critical thinking skills will also be promoted.	○	○													
英語3◇	LANe100LA	英語3◇	LANe100LA	受講生は比較的難しい英文でも臆さず読めるようにする。専門的な用語も含め、新聞記事や論文などで頻繁に使われる基礎的な英語表現・語句を習得する。ある程度早く正確に読めるようにする。	○	○													
英語4◇	LANe100LA	英語4◇	LANe100LA	The aim of this course is that students develop their English communicative skills necessary in dealing with various situations. At the same time, you should attain a deep understanding of the issues that are chosen as class material. Vocabulary building and critical thinking skills will also be promoted.	○	○													
英語5◇	LANe100LA	英語5◇	LANe100LA	The goal of the course is to develop students' receptive (listening and reading) and interactive (speaking and writing) abilities by learning techniques and strategies that help students relate ideas to personal experiences, respond to texts and photos, and synthesize information to overcome limitations. Course content will include extensive reading, listening and vocabulary development, as well as extensive practice in using spoken and written English in various activities and assignments.	○	○													

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈なかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例									
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
英語6◇	LANe100LA	英語6◇	LANe100LA	Building on what was studied in the first semester, the goal of the course is to further develop students' ability to interact more successfully in English. Course content will include extensive reading, listening and vocabulary development, as well as, extensive practice in using spoken and written English in various activities and assignments.	○	○					◎		
英語7◇	LANe200LA	英語7◇	LANe200LA	学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。 専門的見地から書かれた論点を批判的に取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。単なる英語スキルのための授業ではなく、SA前に国際文化の学生が身につけてほしい知識を重視し、それと英語スキルの両方を養うことを目指す。	○	○					◎		
英語8◇	LANe200LA	英語8◇	LANe200LA	You will acquire language learning strategies such as shadowing, summarizing and self-talk. You will write a report and a letter in English. You will learn how to motivate yourself, studying self-efficacy. You will also learn how to debate and how to prepare for a presentation. In addition, you will develop critical thinking.	○	○					◎		
English1-I ■	LANe100LA	English1-I ■	LANe100LA	単一筆者による英文Essayを読むことで書き手の文体に慣れ、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知ることが多い文法や構文の理解を促す。これらを通じて、多様な英語の文法が身に付き、フォニエタリ＝強化ができる。新編書下しなので神速で読め、自分の意見を持ち出し、議論の場に対して英語でコメントを書く。まずはパラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文Essay形式で自分の考えを述べることが目指す。併せてリスニングテスト、ディクテーションを行い、読解を促して内容を理解できるようにする。	○	○					◎		
English1-II ■	LANe100LA	English1-II ■	LANe100LA	同上	○	○					◎		
English2-I ■	LANe100LA	English2-I ■	LANe100LA	This subject aims to equip learners with the basics of communication, and to help learners with everyday conversation, centred around listening, pronunciation and communication strategies.	○	○					◎		
English2-II ■	LANe100LA	English2-II ■	LANe100LA	同上	○	○					◎		
英語1-I □	LANe100LA	英語1-I □	LANe100LA	・総合的な英語力の向上。 ・幅広いトピックについて書かれた英文を理解できるようにする。 ・構造を意識しながら英文を読むことができる。 ・語彙力が向上する。 ・効果的に辞書を使うことができる。	○	○					◎		
英語1-II □	LANe100LA	英語1-II □	LANe100LA	同上	○	○					◎		
英語2-I □	LANe100LA	英語2-I □	LANe100LA	・自分の意見や考えを口頭および文章で英語で表現できるようにする。 ・英語を聞くことに慣れ、リスニング力が向上する。 ・語彙力が向上する。	○	○					◎		

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																		
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。		I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。		II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。		III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。		IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。		V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で対峙する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。		VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。		VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を享受することによって、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。				
カリキュラム（科目一覧）																						
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン																						
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																	
英語2-Ⅱ口	LANe100LA	英語2-Ⅱ口	LANe100LA	同上														◎				
入門英語 (SS1) I ●	LANe100LA	入門英語 (SS1) I ●	LANe100LA	受講生は、英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につけるようにする。																	◎	
入門英語 (SS1) II ●	LANe100LA	入門英語 (SS1) II ●	LANe100LA	受講生は、英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時刻や適切な語句の選択等を通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につけるようにする。																	◎	
英語オーラル・コミュニケーションⅠ*	LANe200LA	英語オーラル・コミュニケーションⅠ*	LANe100LA	Through this course, the students will be able to practice fluency, exchange opinions and enhance critical thinking skills. They will overcome the fear or shyness in expressing themselves and be able to speak with increased confidence in private as well as public speaking situation. They will also acquire basic ways to examine what culture is and the effects that it may have on us. This should reflect positively on TOEFL(R), TOEIC(R), IELTS and other certifying examinations.																	◎	
英語オーラル・コミュニケーションⅡ*	LANe200LA	英語オーラル・コミュニケーションⅡ*	LANe100LA	同上																	◎	
ビジネス・イングリッシュⅠ*	LANe200LA	英語ビジネス・コミュニケーションⅠ*	LANe100LA	This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as Data management, Etiquette, and Success will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate in written form.																		◎
ビジネス・イングリッシュⅡ*	LANe200LA	英語ビジネス・コミュニケーションⅡ*	LANe100LA	同上																		◎
English Reading and VocabularyⅠ*	LANe200LA	英文ライティングⅠ*	LANe100LA	本日は上記のポイントを学習することで、下記のスキルを身につけることができ、最終的に、英文の中で読解のスキルを養い、書くスキルを高め、読むと書くスキルを同時に伸ばすことが出来る。授業の中で、上記のスキルを身につけることに重点を置く。授業の中で、上記のスキルを身につけることに重点を置く。授業の中で、上記のスキルを身につけることに重点を置く。																		◎
English Reading and VocabularyⅡ*	LANe200LA	英文ライティングⅡ*	LANe100LA	学生は、英語発想/ロジックに基づく、より洗練された英文を書くようになり、その中で日本語文化と英語文化を楽しむことができる。学生は、コミュニケーションの重要性と楽しさを学び、積極的に自分の表現で伝えることができるようになる。上記により、広く世界を見る目を養い、他國の文化を理解し、複数の視点で物事を考えられるようになる。身近にある英語（英字新聞/洋書/洋楽等）を楽しむ。																		◎
English Academic WritingⅠ*	LANe200LA	English Academic WritingⅠ*	LANe100LA	In this course, we will: • Learn academic vocabulary and grammar skills for writing • We will try some easy warm-up writing from the TOEIC® Speaking and Writing Test Learn the structure of writing questions for IELTS, TOEFL® • I will introduce TOEFL in the fall! • Learn test strategies • Increase keyboarding speed to about 35wpm with 95% accuracy • Write!!!																		◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類													
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを支えるための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>													
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例													
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>*・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>													
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要													
English Academic Writing II *	LANe200LA	English Academic Writing II *	LANe100LA	In the fall course, we will: ・ Learn intermediate / advanced academic vocabulary and grammar skills for writing ・ Learn the structure of writing questions for IELTS, TOEIC, or TOEFL ・ Learn test strategies ・ Increase keyboarding speed to 40 wpm 95% accuracy. ・ Write!!!!	○	○											
英語で学ぶ社会と文化 I *	LANe200LA	マスメディアの英語 I *	LANe100LA	この授業では、政治・経済その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を養い、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高度レベルの単語までをこなすことにより、より多様な英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようでありながら、同時に使えない語彙の引き分けやその他の資料の集め方に関する基本的技能とTOEIC500-600レベルの基本的なリスニング力を養い、そして今後につなげることを考えたと題した文章であるが、授業やその必要事項を把握し、そして適切に参照しながら、必要に応じてより詳細な情報を含めて理解しようとする、自分自身の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。	○	○											
英語で学ぶ社会と文化 II *	LANe200LA	マスメディアの英語 II *	LANe100LA	この授業では、政治・経済その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を養い、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高度レベルの単語までをこなすことにより、より多様な英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようでありながら、同時に使えない語彙の引き分けやその他の資料の集め方に関する基本的技能とTOEIC500-600レベルの基本的なリスニング力を養い、そして今後につなげることを考えたと題した文章であるが、授業やその必要事項を把握し、そして適切に参照しながら、必要に応じてより詳細な情報を含めて理解しようとする、自分自身の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。	○	○											
English Presentation I *	LANe200LA	映画で学ぶ英語 I *	LANe100LA	・ 英語による映画を字幕なしで鑑賞し、内容把握することができるようになる。 ・ テキスト内のディクテーション問題に8割以上正解できるようになる。 ・ テキスト内の英文を素早く読み、正確に内容を理解できるようになる。 ・ テキスト内の語彙をすべて理解し、自分の考えを表現する際に使えるようになる。	○	○											
English Presentation II *	LANe200LA	映画で学ぶ英語 II *	LANe100LA	This course is designed to develop your understanding of English-speaking cultures and critical thinking skills by exercising four language modalities (listening, speaking, reading, and writing) while viewing authentic films. Rather than translating the movie script word-for-word, we will focus on grasping main ideas and exchanging our thoughts and reactions to the film. By the end of the course, you will be able to: 1) gain a deeper understanding of some social issues in contemporary cultures (sub-cultures), 2) understand and selectively use formal and informal language uses and nuanced expressions in English, and 3) develop and exercise critical thinking skills.	○	○											
英語アカデミック・リーディング I *	LANe200LA	英語リーディング・ワークショップ I *	LANe100LA	現代世界をダイナミックに変化させている「グローバル化」とは何か？経済や政治にとどまらず、文化や環境など多様な関係性から、この社会的な大変動を分析し解説した英語の入門書を読み、今の世界で起こっている変容について広い視野で理解し、自分なりの考察ができるようになる。 ・発展的には、グローバル化を論じたジャーナリズムの記事やアカデミックな英文をできるだけ抵抗なく読めるようになる読解力や理解力をつける。	○	○											
英語アカデミック・リーディング II *	LANe200LA	英語リーディング・ワークショップ II *	LANe100LA	同上	○	○											
英語検定試験対策 I *	LANe200LA	英語検定試験対策 I *	LANe100LA	TOEICスコア700点に必要なリスニング・リーディングの能力を身につけることが目標です。	○	○											
英語検定試験対策 II *	LANe200LA	英語検定試験対策 II *	LANe100LA	同上	○	○											
Oral Communication I ■	LANe200LA	Oral Communication I ■	LANe200LA	この授業は、英語の文法を知っていても実際の会話でそれを十分活かすことができなかつたり語彙数が少なかつたりするために、英語での会話が長続きしない、という問題を克服し、初歩的な文型や語彙を用いながら英語での会話を続けるための様々な方法を習得することを目指します。	○	○											

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
Oral Communication II ■	LANe200LA	Oral Communication II ■	LANe200LA	私たちは日常生活で知らず知らずのうちに、自分の経験したこと、見たこと、聞いたことについて、様々な「お話」を語っていますが、同じことを英語でできたら楽しいと思いませんか。この授業は、初歩的な文型や語彙を用いながら英語で「お話」を語るための様々な方法を習得することを目指します。															
English through Movies and Drama I ■	LANe200LA	English through Movies and Drama I ■	LANe200LA	・ 口語表現に親しみ、応用できるよう習得する。 ・ Authenticな英語に対するリスニング力を向上させる。 ・ シナリオを読むことに慣れる。 ・ 場面や人物について、英語で描写できるようにする。															
English through Movies and Drama II ■	LANe200LA	English through Movies and Drama II ■	LANe200LA	同上															
TOEIC(R) I ■	LANe200LA	TOEIC(R) I ■	LANe200LA	TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。															
TOEIC(R) II ■	LANe200LA	TOEIC(R) II ■	LANe200LA	TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12月のTOEIC®本試は全員に受験していただきます。															
英語検定試験対策 I ■	LANe200LA	英語検定試験対策 I ■	LANe200LA	1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy 2 Be able to understand main points of long lectures 3 Improve grammatical skill and expand vocabulary															
英語検定試験対策 II ■	LANe200LA	英語検定試験対策 II ■	LANe200LA	1 Be able to write well-organized multi-paragraph essays: 2 Be able to understand long lectures: 3 Improve grammatical skill and expand vocabulary.															
Business Communication I ■	LANe200LA	Business Communication I ■	LANe200LA	英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口語および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の業務、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身につける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や自ら発信する文章を書くことができるようにする。															
Business Communication II ■	LANe200LA	Business Communication II ■	LANe200LA	同上															
ニュース英語 I ■	LANe200LA	ニュース英語 I ■	LANe200LA	世界のニュースを正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味の塊ごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き取りをしたり、声に出して読む練習も繰り返す。基本文法事項や辞書の使い方についても理解を深め、確実に読解力のレベルアップを図る。また、聴き取った読み取った内容について、自分の意見を平易な英語で書く練習も行う。															

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例									
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
ニュース英語Ⅱ■	LANe200LA	ニュース英語Ⅱ■	LANe200LA	同上									◎
Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-I□	LANe200LA	Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-I□	LANe100LA	The goal of this class is to increase students' overall communicative ability.									◎
Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-II□	LANe200LA	Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-II□	LANe100LA	同上									◎
Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-I□	LANe200LA	Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-I□	LANe100LA	The goal of this class is to increase students' overall communicative ability.									◎
Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-II□	LANe200LA	Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-II□	LANe100LA	同上									◎
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-I□	LANe200LA	Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-I□	LANe100LA	語彙を増やし、英語のさまざまな技能の分野で使ってみることを目標にします。出来れば、春学期、秋学期とも受講することを希望します。									◎
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-II□	LANe200LA	Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-II□	LANe100LA	この期間で語彙と表現方法を身につけ、英語のさまざまな技能の分野で応用できるようになることを目標にします。									◎
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-I□	LANe200LA	Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-I□	LANe100LA	This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as Data management, Etiquette, and Success will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate in written form.									◎
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-II□	LANe200LA	Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-II□	LANe100LA	同上									◎
Practical English（英語検定試験対策）A-I□	LANe200LA	Practical English（英語検定試験対策）A-I□	LANe100LA	語彙を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。									◎



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																			
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p> <p><b>カリキュラム（科目一覧）</b>  科目名凡例一覧（履修対象学部）  ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文  ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営  ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化  ★・・・法 ■・・・人間環境  □・・・キャリアデザイン</p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）  大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野  文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野  1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野  自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野  情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野  英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。  1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野  英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野  1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>																			
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																		
Practical English（英語検定試験対策）A-II □	LANe200LA	Practical English（英語検定試験対策）A-II □	LANe100LA	同上													◎						
Practical English（英語検定試験対策）B-I □	LANe200LA	Practical English（英語検定試験対策）B-I □	LANe100LA	語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点に必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。																		◎	
Practical English（英語検定試験対策）B-II □	LANe200LA	Practical English（英語検定試験対策）B-II □	LANe100LA	同上																		◎	
English for Study Abroad I □	LANe200LA	English for Study Abroad I □	LANe100LA	多少の未知語に臆することなく、種々の課題に参加することで、英語を聞く、話す、読む、書くことに対して自信を持って留学に備えることを到達目標とします。																		◎	
English for Study Abroad II □	LANe200LA	English for Study Abroad II □	LANe100LA	・英語文化/発想に基づいた英語を理解できる。 自分の意見を英語ロジックでまとめ、それを伝える能力の基礎を養う。 ・日本語と英語の言語、発想、文化の違いにも興味を持ち、対応できる。 日本の事も知る必要があることを認識し、日本の文化や歴史も説明できる。 ・グローバルな視点を養う。 ・自分なりの学習方法を学ぶ。																			◎
ドイツ語1 I ▽	LANd100LA	ドイツ語1：表現－文法の基礎 I ▽	LANd100LA	ドイツ語文法の二つの基本事項として、名詞の格という概念を把握し、冠詞の格変化の仕方を身につけます。・主語に対応して動詞の語尾が徐々に変化し、主語と動詞の対応によって文が成立することを学び、現在形と過去形における人称変化を自在に用いられるようになります。																		◎	
ドイツ語1 II ▽	LANd100LA	ドイツ語1：表現－文法の基礎 II ▽	LANd100LA	助動詞・分離動詞・不定詞・関係代名詞等、主にドイツ語の文章の根幹をなす特色の一つである格構造に関する文法事項を学びます。さらに、現在形の展開形態として現在完了形・未来形等の時制の変化を、最後に、非現実の事柄が表現できる接続法について学びます。																		◎	
ドイツ語2 I ▽	LANd100LA	ドイツ語2：読解－文法の練習 I ▽	LANd100LA	テキストを読めるようになるためのドイツ語文法の基礎を学ぶ。																		◎	
ドイツ語2 II ▽	LANd100LA	ドイツ語2：読解－文法の練習 II ▽	LANd100LA	同上																		◎	
ドイツ語3 I ▽	LANd200LA	ドイツ語3：理解－テキストの把握 I ▽	LANd200LA	1年次に学んだドイツ語の文法項目の正確な習得をします。 日常的なレベルのドイツ語での会話を聞いて、その発音に慣れることによって、これらの会話が理解できるようになることを目標とします。 段階ごと、テーマごとの課題を通して、学んだドイツ語の表現による発信ができるようになることを到達目標とします。																			◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																		
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>																		
カリキュラム（科目一覧）																						
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◆・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>																						
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																	
ドイツ語3Ⅱ▽	LANd200LA	ドイツ語3：理解－テキストの把握Ⅱ▽	LANd200LA	ドイツ語を読む・聞く・話すという領域でバランスのとれたコミュニケーション能力を培うことが第一の到達目標です。またテキストの日常会話におけるドイツ語のさまざまな表現方法を習得します。さらにLeittextの語学的な理解を通して、ドイツ社会の様々な事象について知識を得、日本と比較して考えられるようになることが第三の到達目標です。																	◎	
ドイツ語4Ⅰ▽	LANd200LA	ドイツ語4Ⅰ▽	LANd200LA	初級文法の知識を確実なものとし、日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現を学びます。使える会話表現を学ぶことによって、聞き取る力を養成します。日常生活のさまざまな事柄を簡単なドイツ語で表現できることを目標とします。																		◎
ドイツ語4Ⅱ▽	LANd200LA	ドイツ語4Ⅱ▽	LANd200LA	同上																		◎
ドイツ語(1)Ⅰ★	LANd100LA	ドイツ語(1)Ⅰ★	LANd100LA	接続法までの初級文法を一通り学習することによって、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）4、3級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。																		◎
ドイツ語(1)Ⅱ★	LANd100LA	ドイツ語(1)Ⅱ★	LANd100LA	同上																		◎
ドイツ語(2)Ⅰ★	LANd100LA	ドイツ語(2)Ⅰ★	LANd100LA	第一の目標は、ドイツ語の発音の規則、初級文法、簡単な文章表現といったドイツ語の基礎知識の習得です。そしてもう一つの目標は、ドイツ語（外国語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力、さらには他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっている現象を理解することです。																		◎
ドイツ語(2)Ⅱ★	LANd100LA	ドイツ語(2)Ⅱ★	LANd100LA	春学期に続き、ドイツ語の発音の規則を定着させ、初級文法、簡単な文章表現といったドイツ語の基礎知識の習得を目指すとともに、ドイツ語（外国語）学習を通して「コミュニケーション」のあり方について考えます。ドイツ語・ドイツ語圏という異文化と接することで、自分の属する文化と言語圏について反省的に考えられるようになることが最大の目標です。																		◎
ドイツ語(3)Ⅰ★	LANd200LA	ドイツ語(3)Ⅰ★	LANd200LA	一年生で学んだ項目を復習しながら、発音・表現・語彙・聞きとり・読解といったドイツ語の基礎能力をさらに充実させることができる。																		◎
ドイツ語(3)Ⅱ★	LANd200LA	ドイツ語(3)Ⅱ★	LANd200LA	同上																		◎
ドイツ語1◇	LANd100LA	ドイツ語1◇	LANd100LA	第一の目標は、ドイツ語文法の初歩を理解した上で平易なドイツ語を読むとともに、自らもドイツ語で少しづつアウトプット（作文）ができるようになることです。第二の目標は、「ドイツ語（外国語）の学び方」をつねに反省できる学習者になること、その現象を理解できる学習者になることです。3. 他者のように「自分の学び方」を意識するクセをつけましょう。そして第三の目標は、ドイツ語（外国語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力、さらには他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっている現象を理解することです。																		◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																		
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え、方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>											
カリキュラム（科目一覧）				<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>																		
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	<p>記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>																	
ドイツ語2◇	LANd100LA	ドイツ語2◇	LANd100LA	当講座では、学生一人ひとりがドイツ語で基礎的なコミュニケーションができるようになることを目指す。Basicな言語運用能力の一層の定着を目指す。																	◎	
ドイツ語3◇	LANd100LA	ドイツ語3◇	LANd100LA	第一の目標は、ドイツ語文法の初歩を理解した上で平易なドイツ語を読み、また自らドイツ語でアウトプット（作文）ができるようになること。ドイツ語（2）の学習項目を積み上げながら、自分がさらに多くの表現に慣れていくことを実感してもらいたいと思います。第二の目標は、「ドイツ語（外国語）の学び方」を反省する意義を理解できる学習者になること。ぜひ1年次のうちに、自身の学び方そのものを意識するクセをつけましょう。そして第三の目標は、ドイツ語（外国語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力、さらには他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっている視点を理解することです。																		◎
ドイツ語4◇	LANd100LA	ドイツ語4◇	LANd100LA	当講座では、学生一人ひとりがドイツ語で基礎的なコミュニケーションができるようになることを目指す。Basicな言語運用能力の一層の定着を目指す。																		◎
ドイツ語5◇	LANd100LA	ドイツ語5◇	LANd100LA	当講座はドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力の育成を目指す。Basicな言語運用を目指す。																		◎
ドイツ語6◇	LANd100LA	ドイツ語6◇	LANd100LA	当講座はドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力の育成を目指す。Basicな言語運用能力の一層の定着を目指す。																		◎
ドイツ語7◇	LANd200LA	ドイツ語7◇	LANd200LA	ドイツ語圏の日常生活に必要な語彙表現を獲得し、自ら積極的にドイツ語でアウトプットができるようになること。ドイツ語圏の社会や文化事情に関するドイツ語の文章を読んで理解し、そうしたテーマに関し少しずつ抽象的な議論ができるようになること。留学地での生活に適應するための能力と心構えの獲得が最大の目標です。																		◎
ドイツ語8◇	LANd200LA	ドイツ語8◇	LANd200LA	SAIに参加し、十分な成果を修めることができるようにするために不可欠なドイツ語運用能力を獲得する。																		◎
ドイツ語1-I ■□	LANd100LA	ドイツ語1-I ■□	LANd100LA	辞書を用い自力でドイツ語の構文解析ができるようにします。ドイツ語の統語構造についての正確な理解を身につけ、自力でテキストの解析を行えるようになります。																		◎
ドイツ語1-II ■□	LANd100LA	ドイツ語1-II ■□	LANd100LA	同上																		◎
ドイツ語2-I ■□	LANd100LA	ドイツ語2-I ■□	LANd100LA	1年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。ドイツ語による簡単なテキストの読解と基本的な会話ができるようになることを目指します。																		◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
ドイツ語2-II ■□	LANd100LA	ドイツ語2-II ■□	LANd100LA	春学期に引き続き初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。ドイツ語による簡単なテキストの読解と基本的な会話ができるようになることを目指します。													◎		
ドイツ語3-I ■	LANd200LA	ドイツ語3-I ■	LANd200LA	ドイツ語を論理的に理解し、基本的なテキストを読めるようになることが目標である。														◎	
ドイツ語3-II ■	LANd200LA	ドイツ語3-II ■	LANd200LA	同上														◎	
ドイツ語表現法 I ●	LANd100LA	ドイツ語表現法 I ●	LANd200LA	受講者はこの授業でドイツ語で文章や短いテキストを書く練習をします。自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、ブログなどの書き方を習います。およびと文学的な文章、詩などが書けるよう、物語もトライしましょう。書くことによって基礎文法を確認するだけでなく、実践的に使える語彙も増え、読解力が上手だが、ドイツ語で表現したいという学生は是非トライしてみてください。初心者レベルでも文章を書くことが可能です。自分のレベルに合った文章やテキストを書けるように練習しましょう。														◎	
ドイツ語表現法 II ●	LANd100LA	ドイツ語表現法 II ●	LANd200LA	同上														◎	
入門ドイツ語 (SSI) I ●	LANd100LA	スポーツ・ドイツ語 I ●	LANd100LA	ドイツ語で表現するための基本となる文法の初歩と関連したドイツ語の文章を学習し、日常のあいさつなどの言い回しが言えるようにする。ドイツ語を正しく発音し、初歩的なドイツ語の総合力を習得することを目標とする。														◎	
入門ドイツ語 (SSI) II ●	LANd100LA	スポーツ・ドイツ語 II ●	LANd100LA	同上														◎	
検定ドイツ語 I ●	LANd200LA	検定ドイツ語 I ●	LANd200LA	ドイツ語検定試験5級に対応する、文法、読解力を習得し、ドイツ語がキチンと聴き取れる様にする。ドイツ語圏の政治、経済、歴史、文化への興味もさらに大きくなるように。														◎	
検定ドイツ語 II ●	LANd200LA	検定ドイツ語 II ●	LANd200LA	ドイツ語検定試験4級に対応する、文法、読解力を習得し、ドイツ語がキチンと聴き取れる様にする。語彙力の向上にも努める。ドイツ語圏の政治、経済、歴史、文化への興味もさらに大きくなるように。														◎	
ドイツ語コミュニケーション I ●	LANd200LA	ドイツ語コミュニケーション I ●	LANd200LA	ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につけてもらいたい。														◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類口										
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>			
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目										
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要										
ドイツ語コミュニケーションⅡ●	LANd200LA	ドイツ語コミュニケーションⅡ●	LANd200LA	同上										◎
ドイツ語視聴覚Ⅰ●	LANd200LA	ドイツ語視聴覚Ⅰ●	LANd200LA	ドイツ語の能力を向上させる。ドイツ人の価値観や文化などについての知識を広げる。										◎
ドイツ語視聴覚Ⅱ●	LANd200LA	ドイツ語視聴覚Ⅱ●	LANd200LA	同上										◎
時事ドイツ語Ⅰ●	LANd200LA	時事ドイツ語Ⅰ●	LANd200LA	時事的なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読める力を養成することができます。また、文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。それを通して、ドイツおよびヨーロッパの現在の状況についてトータルな知識を獲得することができます。										◎
時事ドイツ語Ⅱ●	LANd200LA	時事ドイツ語Ⅱ●	LANd200LA	毎学期の成果を踏まえて引き続き、時事的なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読める力を養成することができます。また、文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。それを通して、ドイツおよびヨーロッパの現在の状況についてトータルな知識を獲得することができます。										◎
フランス語1Ⅰ▽	LANf100LA	フランス語1Ⅰ▽	LANf100LA	アルファベットから始めてフランス語文法の初歩を学ぶ、フランス語検定試験5級ならびに4級の取得を目指す。										◎
フランス語1Ⅱ▽	LANf100LA	フランス語1Ⅱ▽	LANf100LA	比較級の学習から始めて接続法現在まで学習する。フランス語検定試験4級ならびに3級の取得を目指す。										◎
フランス語2Ⅰ▽	LANf100LA	フランス語2Ⅰ▽	LANf100LA	このクラスの終了時点には、フランス語検定5級に必要な語彙、表現、文法を身につけていることを目指します。また初級程度のフランス語の文章を的確に読めることもあわせて目標とします。										◎
フランス語2Ⅱ▽	LANf100LA	フランス語2Ⅱ▽	LANf100LA	フランス語検定4級、3級に必要な文法事項、語彙、表現などを学習していきます。あわせてフランス語2Ⅰで学習した内容も復習していきます。										◎
フランス語3Ⅰ▽	LANf200LA	フランス語3Ⅰ▽	LANf200LA	フランス語文法の基礎を把握し、さまざまな文章に触れることを通じて、仏検4級レベルのフランス語力を身につけることを目指します。										◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類										
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。			
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目										
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要										
フランス語3Ⅱ▽	LANf200LA	フランス語3Ⅱ▽	LANf200LA	春学期と同様に、フランス語文法の基礎を把握し、さまざまな文章の読解を通して、仏検4級レベルのフランス語力を身につけることを目指します。									◎	
フランス語4Ⅰ▽	LANf200LA	フランス語4Ⅰ▽	LANf200LA	フランス語で簡単な情報交換ができるようになり、簡単な文章も書けるようになるので、メールやSNSでの交流も楽しめるようになります。									◎	
フランス語4Ⅱ▽	LANf200LA	フランス語4Ⅱ▽	LANf200LA	同上									◎	
フランス語5Ⅰ▽	LANf200LA	フランス語5Ⅰ▽	LANf200LA	フランス語の語彙・構文・文法の理解を高め、中級以上のテキストが読解できる力を身につける。ディープなフランス旅行ができるようになる。									◎	
フランス語5Ⅱ▽	LANf200LA	フランス語5Ⅱ▽	LANf200LA	フランス語の語彙・表現力を高め、中級以上のテキストが読解できる力を身につける。									◎	
フランス語(1)Ⅰ★	LANf100LA	フランス語(1)Ⅰ★	LANf100LA	筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF A1レベル）に対応しています。旅行中の簡単な会話もできるようになります。									◎	
フランス語(1)Ⅱ★	LANf100LA	フランス語(1)Ⅱ★	LANf100LA	同上									◎	
フランス語(2)Ⅰ★	LANf100LA	フランス語(2)Ⅰ★	LANf100LA	筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF A1レベル）に対応しています。旅行中の簡単な会話もできるようになります。									◎	
フランス語(2)Ⅱ★	LANf100LA	フランス語(2)Ⅱ★	LANf100LA	同上									◎	
フランス語(3)Ⅰ★	LANf200LA	フランス語(3)Ⅰ★	LANf200LA	・実際の生活局面に応じた質問と応答を明確な声で話せる。 ・基本的な文型がわかる。 ・平易な文の裏と表りを読み、概ね理解できる。 ・フランス語検定3級相当の語学力を身につける。さらには「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）」および「フランス文部省認定フランス語資格試験（DELF）」A1レベルを目指す。									◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
フランス語(3)Ⅱ★	LANf200LA	フランス語(3)Ⅱ★	LANf200LA	同上									◎
フランス語1◇	LANf100LA	フランス語1◇	LANf100LA	SAアンジェに備え、春semester終了時、少なくとも秋semester終了時には、フランス語実用技能検定試験（仏検）5級合格に相当する語学力の習得をめざします。									◎
フランス語2◇	LANf100LA	フランス語2◇	LANf100LA	SAアンジェにおいて現地の学校で学ぶために必要な知識と技能を身に着けることを目標とする。他授業と連携しながら、「聞いてわかる、話す、読む、書く」という4つの側面をバランス良く修得していく。									◎
フランス語3◇	LANf100LA	フランス語3◇	LANf100LA	SAアンジェに備え、春semester終了時、少なくとも秋semester終了時には、フランス語実用技能検定試験（仏検）5級合格に相当する語学力の習得をめざします。									◎
フランス語4◇	LANf100LA	フランス語4◇	LANf100LA	SAアンジェにおいて現地の学校で学ぶために必要な知識と技能を、さらに充実させることを目標とする。他授業と連携しながら、「聞いてわかる、話す、読む、書く」という4つの側面をバランス良く修得していく。特に、様々な日常的場面・状況において対応できるフランス語を修得できるようにする。									◎
フランス語5◇	LANf100LA	フランス語5◇	LANf100LA	コミュニケーション・スキルズを中心に授業を進めます。									◎
フランス語6◇	LANf100LA	フランス語6◇	LANf100LA	来年の留学先（SAフランス）を考慮しながら、フランス語基礎能力をのばすことを目的としています。									◎
フランス語7◇	LANf200LA	フランス語7◇	LANf200LA	教科書①『Le Nouveau Taxi !!』の文法規則を確実に理解した上で、SAアンジェ滞在中に必要な日常表現を運用できるようになる。教科書②『改訂版گرامール・アクティヴ』で複言語・複文化La Grammaire active du français』等の練習問題を解くことで、フランス語の基礎文法を習得する。									◎
フランス語8◇	LANf200LA	フランス語8◇	LANf200LA	SA先フランス・アンジェへ行く前の直前準備講座です。基礎文法と初歩的な会話の復習・予習を徹底し、渡仏前に留学先で困らないようしっかり最大限の準備をします。									◎
フランス語1-I●	LANf100LA	フランス語1-I●	LANf100LA	フランス語の初級文法について、代名動詞までを1学期間でマスターする。 DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）のA1レベル到達を目標とする。仏検5級合格を目指す。									◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシ能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈なかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>									
カリキュラム（科目一覧）				<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）  <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン</li> <li>★・・・法・文・経営・国際文化</li> <li>▽・・・法・文・経営</li> <li>★・・・法</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆・・・文</li> <li>◆・・・経営</li> <li>◇・・・国際文化</li> <li>■・・・人間環境</li> </ul> </p>																
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
フランス語1-II ●	LANf100LA	フランス語1-II ●	LANf100LA	同上																◎
フランス語2-I ●	LANf100LA	フランス語2-I ●	LANf100LA	あいさつ、旅行などで必要なフランス語の基本的な会話表現と聴き取り能力を身につける。DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）のA1レベル到達を目標とする。仏検5級合格を目指す。																◎
フランス語2-II ●	LANf100LA	フランス語2-II ●	LANf100LA	同上																◎
フランス語3-I ■	LANf200LA	フランス語3-I ■	LANf200LA	フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検4級レベルへの早期の到達を目指します。																◎
フランス語3-II ■	LANf200LA	フランス語3-II ■	LANf200LA	同上																◎
フランス語視聴覚(入門) I ●	LANf200LA	フランス語視聴覚 I ●	LANf100LA	夏休みまで名前、国籍、職業、専攻、年齢、誕生日、趣味、持ち物、電話番号、メールアドレス、兄弟姉妹を言えるようになる。																◎
フランス語視聴覚(入門) II ●	LANf200LA	フランス語視聴覚 II ●	LANf100LA	料理の作り方を讀んだり、生活習慣の話をしたり、学校の決まり、フランス社会のルール、過去の話、予定を言う、将来の希望を言う、たくさんお話を言えるようになる。																◎
フランス語視聴覚(初・中級) I ●	LANf200LA	フランス語視聴覚 III ●	LANf200LA	やや複雑なフランス語を聞きとり、話すことができ、書いて読めるようになること。DELF試験のA1レベルに対応しています。																◎
フランス語視聴覚(初・中級) II ●	LANf200LA	フランス語視聴覚 IV ●	LANf200LA	同上																◎
フランス語コミュニケーション(初級) I ●	LANf200LA	フランス語コミュニケーション I ●	LANf200LA	初心者フランス語でコミュニケーション（話す、聞く、書く、読む）ができるようになること。																◎



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類								
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例								
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要								
フランス語コミュニケーション(初級)Ⅱ●	LANf200LA	フランス語コミュニケーションⅡ●	LANf200LA	同上								◎
時事フランス語Ⅰ●	LANf200LA	時事フランス語Ⅰ●	LANf200LA	フランスの「いま」を観察することで、この国に特有の知識を深めると同時に、「外から」日本を見直す機会をもつこと。外国語の学習は、その言語が使用されている国・地域について豊かな知識をもつことと不可分だからです。								◎
時事フランス語Ⅱ●	LANf200LA	時事フランス語Ⅱ●	LANf200LA	同上								◎
検定フランス語(初級)Ⅰ●	LANf200LA	検定フランス語Ⅰ●	LANf200LA	フランス語の最初歩を習得すること。1年生で学習した範囲の半分くらいまでにあたります。								◎
検定フランス語(初級)Ⅱ●	LANf200LA	検定フランス語Ⅱ●	LANf200LA	フランス語の初歩を習得すること。1年生で学習した範囲のほぼ全体にあたります。								◎
情報フランス語Ⅰ●	LANf200LA	情報フランス語Ⅰ●	LANf200LA	やさしいフランス語の表現を自力で理解できるようになる。それと同時に、フランスの文化や社会の現状への理解が深まる。								◎
情報フランス語Ⅱ●	LANf200LA	情報フランス語Ⅱ●	LANf200LA	同上								◎
ロシア語ⅠⅠ▽	LANr100LA	ロシア語ⅠⅠ▽	LANr100LA	ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。								◎
ロシア語ⅠⅡ▽	LANr100LA	ロシア語ⅠⅡ▽	LANr100LA	簡単な会話をロシア語で行ったり、必要最低限の情報をロシア語の文章から得る、またはロシア語で伝えたりすることができる。								◎
ロシア語ⅡⅠ▽	LANr100LA	ロシア語ⅡⅠ▽	LANr100LA	キリル文字（ロシア文字）を読み、書けること。アクセントを意識して単語を発音できること。平叙文と疑問文のイントネーションをきちんと使い分けられること。まとまった文章を音読できること。学んだ文法を理解し、ロシア語の文章を日本語に訳せること。簡単な挨拶・表現を理解し、それに対応できること。								◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																			
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>																			
カリキュラム（科目一覧）																							
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>																							
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																		
ロシア語2Ⅱ▽	LANr100LA	ロシア語2Ⅱ▽	LANr100LA	動詞の変化（現在、過去、未来、命令形）を正確に理解し、使用できること。格変化の意味と用法を理解し、使い分けられること。簡単なロシア語の文章を読み、理解できること。ロシア語を正確に日本語に訳せること。文章の内容についてロシア語での質問を理解し的確に答えられること。また、簡単な日本語の文章をロシア語で表現できること。簡単なロシア語の会話を理解し、それに的確に応えられること。																	◎		
ロシア語3Ⅰ▽	LANr200LA	ロシア語3Ⅰ▽	LANr200LA	格変化、動詞に関連する文法事項を正確に理解できること。関係代名詞などが使われている複文を正確に理解し、日本語に訳せること。数詞が入った表現（時間、年齢、年月日など）を読み、理解し、ロシア語で的確に表現できること。既習の文法事項が含まれる文章を正確に理解できること。																		◎	
ロシア語3Ⅱ▽	LANr200LA	ロシア語3Ⅱ▽	LANr200LA	辞書を使ってロシア語の文章を読み、理解し、日本語に訳すことができる。文章の内容に関するロシア語の質問を理解でき、それに的確に答えることができる。簡単な会話表現を理解でき、的確に応えることができる。																		◎	
ロシア語4Ⅰ▽	LANr200LA	ロシア語4Ⅰ▽	LANr200LA	既習文法を正しく理解していること。辞書を用いてロシア語の文章を理解し日本語に訳せること。簡単な文章をロシア語で表現できること。ロシア語での質問を理解し、それに適切に答えられること。アクセントの位置やイントネーションを意識して、文章の音読ができること。																			◎
ロシア語4Ⅱ▽	LANr200LA	ロシア語4Ⅱ▽	LANr200LA	辞書を使ってロシア語の文章を読み、理解し、日本語に訳すことができる。文章の内容に関するロシア語の質問を理解でき、それに的確に答えることができる。簡単な会話表現を理解でき、的確に応えることができる。																			◎
ロシア語5Ⅰ▽	LANr200LA	ロシア語5Ⅰ▽	LANr200LA	ロシア語能力試験（TPKI）A1レベルの文法を身につけること。そのレベルの文章を聞き取りできること。ロシア語での主な挨拶ができること。授業で学んだテーマについてロシア語で会話ができること。																			◎
ロシア語5Ⅱ▽	LANr200LA	ロシア語5Ⅱ▽	LANr200LA	同上																			◎
ロシア語(1)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語(1)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。																			◎
ロシア語(1)Ⅱ★	LANr100LA	ロシア語(1)Ⅱ★	LANr100LA	簡単な会話をロシア語で行ったり、必要最低限の情報をロシア語の文章から得る、またはロシア語で伝えたりすることができる。																			◎
ロシア語(2)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語(2)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語のアルファベットと単語の美しく正確な発音ができる。習字帳などでロシア文字（筆記体を含む）が書けるようになる。初級文法の最初のステップ（名詞、形容詞、動詞の変化など）を教科書できちんと習得する。挨拶などの簡単な会話を覚える。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、単語や文法を着実に身につける。																			◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
ロシア語(2)Ⅱ★	LANr100LA	ロシア語(2)Ⅱ★	LANr100LA	ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ初級文法をきちんと使いこなしながら、辞書を用いてテキストの意味を理解し和訳できる。また、毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、過去問題や練習問題を解く。「聴く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。										◎					
ロシア語(3)Ⅰ★	LANr200LA	ロシア語(3)Ⅰ★	LANr200LA	新聞やネットなどのロシア語にも挑戦できる力をつける。										◎					
ロシア語(3)Ⅱ★	LANr200LA	ロシア語(3)Ⅱ★	LANr200LA	新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。										◎					
ロシア語1◇	LANr100LA	ロシア語1◇	LANr100LA	正確にロシア文字を読み、書けること。アクセントの位置、イントネーションを正しく発音できること。ロシア語の文法の基本を説明することができること。										◎					
ロシア語2◇	LANr100LA	ロシア語2◇	LANr100LA	SAロシアでの授業や生活で困らない程度の日常的なロシア語運用能力を身につけるよう頑張ります。ロシアでの生活は、ロシア語でのコミュニケーションが成り立つ事で、その充実度や喜びは数倍も変わります。語彙力と文法力の増強はさることながら、コミュニケーション能力を身につけることに焦点を当てます。										◎					
ロシア語3◇	LANr100LA	ロシア語3◇	LANr100LA	SAロシアでの授業や生活で困らない程度の日常的なロシア語運用能力を身につけるよう頑張ります。ロシアでの生活は、ロシア語でのコミュニケーションが成り立つ事で、その充実度や喜びは数倍も変わります。ロシア人留学生との交流も通じて、語彙力と文法力の増強はさることながら、コミュニケーション能力を身につけることに焦点を当てます。										◎					
ロシア語4◇	LANr100LA	ロシア語4◇	LANr100LA	既習の文法事項が含まれる平易なロシア語の文章を理解することができ、正確に日本語にすることができる。ロシア語での質問を理解し、的確に答えることができる、やさしい文章や自分の考えを自分なりにロシア語で表現できる。										◎					
ロシア語5◇	LANr100LA	ロシア語5◇	LANr100LA	正確にロシア文字を読み、書けること。アクセントの位置、イントネーションを正しく発音できること。また、ロシア語の基礎的な会話表現の習得を目指します。										◎					
ロシア語6◇	LANr100LA	ロシア語6◇	LANr100LA	複数生格や、これと密接に関係する数詞を使った表現など、初級文法のなかで習得が困難で、かつ日常的なコミュニケーションに必須な事項をマスターすること。										◎					
ロシア語7◇	LANr200LA	ロシア語7◇	LANr200LA	ロシアで生活しても困らないレベルのロシア語力の獲得が目標となります。ロシアに行けば、なんとかなるといふ考えは捨ててください。SAロシアを充実したものにするか否か、この時期の頑張りによって違いが出てきます。										◎					

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類											
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>											
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目											
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要											
ロシア語8◇	LANr200LA	ロシア語8◇	LANr200LA	高度な内容のロシア語の文章を理解し、それについて説明したり議論したりすることができる。											◎
ロシア語1-I ■□	LANr100LA	ロシア語1-I ■□	LANr100LA	ロシア語のアルファベットと単語の美しく正確な発音ができる。習字帳などでロシア文字（筆記体を含む）が書けるようになる。初級文法の最初のステップ（名詞、形容詞、動詞の変化など）を教科書できちんと習得する。挨拶などの簡単な会話を覚える。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、単語や文法を着実に身につける。											◎
ロシア語1-II ■□	LANr100LA	ロシア語1-II ■□	LANr100LA	ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ初級文法をきちんと使いこなしながら、辞書を用いてテキストの意味を理解し和訳できる。また、毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、練習問題を解く。「聴く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。											◎
ロシア語2-I ■□	LANr100LA	ロシア語2-I ■□	LANr100LA	ロシア語のアルファベットを覚え、書けるようになる。単語の美しく正確な発音ができる。名詞を中心とした文法（形容詞、所有代名詞、指示代名詞）と動詞の変化を覚える。格の意味などロシア語の構文の構造を理解する。挨拶などの簡単な会話を覚える。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、対象範囲の必須単語や文法などを確実に習得する。											◎
ロシア語2-II ■□	LANr100LA	ロシア語2-II ■□	LANr100LA	格変化を中心としたロシア語文法の構造を理解し、変化表を覚える。毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、格変化および運動の動詞などの練習問題をきちんと解ける。ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ文法をきちんと使いこなしながら、辞書を用いてテキストの意味を理解し和訳できる。さらにリスニングや会話の練習を通し、「聴く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。											◎
ロシア語3-I ■	LANr200LA	ロシア語3-I ■	LANr200LA	教科書のロシア語基礎文法を学び終え、しっかりと文法力を身につける。特に数詞の表現、関係代名詞や仮定法、比較級などが使いこなせるようになる。基礎文法が対象のロシア語能力検定試験4級5級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。辞書を引き、より高度な文章の和訳ができるようになる。ロシア語テキストを速くきれいに音読できるようになる。実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。											◎
ロシア語3-II ■	LANr200LA	ロシア語3-II ■	LANr200LA	教科書を復習しながら、ロシア語の基礎文法を整理、記憶し、確実に自身のものとする。より高度なテキストを獲得する。中級文法（副動詞と副動詞）を習得する。その文法を用いて、ロシアの歴史や文化、文学作品やニュースなど、さまざまなテキストを辞書を引き取れるようになる。また、90分程度のロシア語のリスニングや、テキストをきれいな発音で速く音読できること、ロシア語の実話会話、和訳や漢訳など、「聴く、読む、話す、書く」の総合的な語学力を身につける。毎年5月と10月に実施されるロシア語能力検定試験4級5級の合格を目指す。											◎
中国語1 I ▽	LANc100LA	中国語1 I ▽	LANc100LA	読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。											◎
中国語1 II ▽	LANc100LA	中国語1 II ▽	LANc100LA	同上											◎
中国語2 I ▽	LANc100LA	中国語2 I ▽	LANc100LA	同上											◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを司理するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◆・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
中国語2Ⅱ▽	LANc100LA	中国語2Ⅱ▽	LANc100LA	同上										◎					
中国語3Ⅰ▽	LANc200LA	中国語3Ⅰ▽	LANc200LA	中国語で書かれた比較的やさしい文章を、語釈を頼りに辞書無しでも読めるようになることが目標です。										◎					
中国語3Ⅱ▽	LANc200LA	中国語3Ⅱ▽	LANc200LA	同上										◎					
中国語4Ⅰ▽	LANc200LA	中国語4Ⅰ▽	LANc200LA	・中級レベルの中国語を独り読みしたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。 ・中級レベルの中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。 ・春学期の学習を完了した段階で、HSK2級に合格できるレベルの中国語能力を身に付ける。 ・中国語圏の言語や文化に対する関心を養う。										◎					
中国語4Ⅱ▽	LANc200LA	中国語4Ⅱ▽	LANc200LA	同上										◎					
中国語(1)Ⅰ★	LANc100LA	中国語(1)Ⅰ★	LANc100LA	読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。										◎					
中国語(1)Ⅱ★	LANc100LA	中国語(1)Ⅱ★	LANc100LA	同上										◎					
中国語(2)Ⅰ★	LANc100LA	中国語(2)Ⅰ★	LANc100LA	同上										◎					
中国語(2)Ⅱ★	LANc100LA	中国語(2)Ⅱ★	LANc100LA	同上										◎					
中国語(3)Ⅰ★	LANc200LA	中国語(3)Ⅰ★	LANc200LA	基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。3級合格者は、成績評価がA+となる。										◎					

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え、方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを司理するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
中国語(3)Ⅱ★	LANc200LA	中国語(3)Ⅱ★	LANc200LA	同上															
中国語1◇	LANc100LA	中国語1◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）1級の取得に必要な語学力を身につけることを目標とする。															
中国語2◇	LANc100LA	中国語2◇	LANc100LA	中国語の発音ができる。 文法の基礎を理解する。 自己紹介や日常会話などを表現できる。															
中国語3◇	LANc100LA	中国語3◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）2級の取得するのに必要な中国語力を身につけることを目標とする。															
中国語4◇	LANc100LA	中国語4◇	LANc100LA	発音の基礎を固める。 文法・構文を理解し、応用することができる。 一般的な会話の聞き取りと表現ができる。															
中国語5◇	LANc100LA	中国語5◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）1級の取得に必要な語学力を身につけることを目標とする。															
中国語6◇	LANc100LA	中国語6◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）2級の取得に必要な中国語力を身につけることができる。															
中国語7◇	LANc200LA	中国語7◇	LANc200LA	半年後の上海外国語大学での授業にスムーズに入れることを目標としている。															
中国語8◇	LANc200LA	中国語8◇	LANc200LA	HSKの3級および4級の合格に必要なリスニング力を身につける。															
中国語1-1■□	LANc100LA	中国語1-1■□	LANc100LA	・中国語の正しい発音を身につける。 ・ピンインを正しく読めるようにする。 ・中国語の初級レベルの文法を理解する。															

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目														
中国語1-Ⅱ■□	LANc100LA	中国語1-Ⅱ■□	LANc100LA	同上												◎			
中国語2-Ⅰ■□	LANc100LA	中国語2-Ⅰ■□	LANc100LA	同上												◎			
中国語2-Ⅱ■□	LANc100LA	中国語2-Ⅱ■□	LANc100LA	同上												◎			
中国語3-Ⅰ■	LANc200LA	中国語3-Ⅰ■	LANc200LA	基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。3級合格者は、成績評価がA+となる。												◎			
中国語3-Ⅱ■	LANc200LA	中国語3-Ⅱ■	LANc200LA	同上												◎			
中国語視聴覚初級Ⅰ●	LANc200LA	中国語視聴覚Ⅰ●	LANc200LA	中国語検定試験準4級・4級のヒアリング問題合格レベル												◎			
中国語視聴覚初級Ⅱ●	LANc200LA	中国語視聴覚Ⅱ●	LANc200LA	中国語検定試験4級ヒアリング問題合格レベル												◎			
中国語作文初級Ⅰ●	LANc200LA	中国語表現法Ⅰ●	LANc200LA	中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解できる段階まで力をつけることを目指します。												◎			
中国語作文初級Ⅱ●	LANc200LA	中国語表現法Ⅱ●	LANc200LA	中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解できる段階まで力をつけることを目指します。正しい声調で、自然なリズムで話せるようにも指導します。												◎			
中国語コミュニケーション基礎Ⅰ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅠ▽■□	LANc200LA	中国語によるコミュニケーションについては、先ず簡単な会話を交わすことよりスタートし、徐々に複雑な、いろんな分野における意思の疎通を交わらせるようにするものの、基は自信を持って正しい発音を身につけることが目標とする。												◎			

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類								
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを涵養する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要								
中国語コミュニケーション基礎Ⅱ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅡ▽■□	LANc200LA	同上								◎
中国語コミュニケーション初級Ⅰ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅠ▽■□	LANc200LA	学生は綺麗な発音を身につけ、日常会話ができるように。								◎
中国語コミュニケーション初級Ⅱ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅡ▽■□	LANc200LA	学生は表現力などの更なるスキルアップをし、日常の中国語のコミュニケーションが取れるように。								◎
資格中国語初級Ⅰ●	LANc200LA	検定中国語Ⅰ●	LANc200LA	中国語検定4級取得								◎
資格中国語初級Ⅱ●	LANc200LA	検定中国語Ⅱ●	LANc200LA	中国語検定3級取得。								◎
スペイン語1Ⅰ▽	LANs100LA	スペイン語1Ⅰ▽	LANs100LA	・簡単な挨拶ができる。・綴りを見て単語を発音することができる。・現在形に活用した動詞の不定詞を辞書で調べることができる。・再帰動詞の意味と用法について理解する。・現在形の単文ならば辞書を引いて読むことができる。・スペイン語圏の文化のイメージを持つことができる。								◎
スペイン語1Ⅱ▽	LANs100LA	スペイン語1Ⅱ▽	LANs100LA	・動詞の点過去形・線過去形・現在分詞・過去分詞から不定詞を辞書で調べることができる。・点過去形、線過去形の違いを理解できる。・現在進行形、現在完了形、過去完了形などの用法を理解できる。・関係代名詞・関係副詞の用法を理解する。・スペイン・ラテンアメリカ文化についての知識を持つ。								◎
スペイン語2Ⅰ▽	LANs100LA	スペイン語2Ⅰ▽	LANs100LA	授業を通じて、基本的な文法の完全な理解を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。								◎
スペイン語2Ⅱ▽	LANs100LA	スペイン語2Ⅱ▽	LANs100LA	前期と同様、授業を通じて、基本的な文法の完全な理解を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。								◎
スペイン語3Ⅰ▽	LANs200LA	スペイン語3Ⅰ▽	LANs200LA	スペイン語の基礎的な会話の習得。								◎



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類								
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例								
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要								
スペイン語3Ⅱ▽	LANs200LA	スペイン語3Ⅱ▽	LANs200LA	同上								◎
スペイン語4Ⅰ▽	LANs200LA	スペイン語4Ⅰ▽	LANs200LA	スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。								◎
スペイン語4Ⅱ▽	LANs200LA	スペイン語4Ⅱ▽	LANs200LA	自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。								◎
スペイン語(1)Ⅰ★	LANs100LA	スペイン語(1)Ⅰ★	LANs100LA	学生は、スペイン並びにラテンアメリカのスペイン語圏・地域の文化（友人やクライアント）と日常生活上必須の事柄についてコミュニケーションでき、その文化の固有性を確認する（すなわち、相手と真に理解する）新たな視点を獲得する。さらにまた、その視点を一層深めることへの興味や関心を醸成することにある。学生が、スペイン語の学習を機にこの地球上に自分たちにはこれまでにない新たなパートナーの存在を得たと感じることができる。								◎
スペイン語(1)Ⅱ★	LANs100LA	スペイン語(1)Ⅱ★	LANs100LA	学生は、日常生活上の必須の事項についてコミュニケーションでき、その文化の固有性を確認する（すなわち、相手と真に理解する）新たな視点を獲得する。さらにまた、その視点をより一層深めることへの興味や関心を醸成する、その努力を学習指導者とともに行う。学生は、スペイン語の学習を機にこの地球上に自分たちにはこれまでにない新たなパートナーの存在を得たと自覚し得るかが課題となる。								◎
スペイン語(2)Ⅰ★	LANs100LA	スペイン語(2)Ⅰ★	LANs100LA	スペイン語の特徴を把握し、正しく発音する。自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようにする。スペイン語が話されている国の概要を理解する。								◎
スペイン語(2)Ⅱ★	LANs100LA	スペイン語(2)Ⅱ★	LANs100LA	現在および過去の動詞の時制の活用と用法を覚える。簡単な日常会話・文章読解・作文ができるようになる。スペイン語圏の社会や文化に関する理解を深める。								◎
スペイン語(3)Ⅰ★	LANs200LA	スペイン語(3)Ⅰ★	LANs200LA	初級文法の過去時制を終了した時点で、秋のスペイン語技能検定6級の受験が可能です。								◎
スペイン語(3)Ⅱ★	LANs200LA	スペイン語(3)Ⅱ★	LANs200LA	初級文法が終了したら、次回のスペイン語技能検定には5級の受験が可能です。								◎
スペイン語1◇	LANs100LA	スペイン語1◇	LANs100LA	授業を通じて、基本的な文法の完全な理解を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。								◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類口															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を享受すること、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
スペイン語2◇	LANs100LA	スペイン語2◇	LANs100LA	初級文法前半の習得を目標とする。											◎				
スペイン語3◇	LANs100LA	スペイン語3◇	LANs100LA	前期にひきつづき、授業を通して、基本的な文法の完全な理解を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。											◎				
スペイン語4◇	LANs100LA	スペイン語4◇	LANs100LA	初級文法の習得を目指す。初級文法後半の全事項をしっかり身につける。											◎				
スペイン語5◇	LANs100LA	スペイン語5◇	LANs100LA	スペイン語初級文法の直説法までを学び、スペイン語での日常会話ができるようになる。また、現在形規則動詞を使った作文や、簡単なテキストを読むことができるようになる。											◎				
スペイン語6◇	LANs100LA	スペイン語6◇	LANs100LA	前期にひきつづき、授業を通して、基本的な文法の完全な理解を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。											◎				
スペイン語7◇	LANs200LA	スペイン語7◇	LANs200LA	1年次に学んだ文法を完璧にマスターすると同時に、スペイン語文法最大の関門と言われる「接続法」の知識を身につけ、高度な内容の読み物の読解ができるようになることをめざす。											◎				
スペイン語8◇	LANs200LA	スペイン語8◇	LANs200LA	・学習したスペイン語基礎文法をもとに、中級レベルの長文読解ができるようになる。 ・過去・点過去の使い分けをより具体的に理解できるようになる。 ・接続法の使い方を理解できるようになる。 ・スペイン語圏の現地の文化について、日本の文化と比較して意見交換ができるようになる。											◎				
スペイン語1-I ■□	LANs100LA	スペイン語1-I ■□	LANs100LA	スペイン語の初級文法を習得する。発音や平易な文章の読解を通して初歩的な表現方法を学ぶ。また、スペイン語圏の諸地域について興味を持つことができるようになる。											◎				
スペイン語1-II ■□	LANs100LA	スペイン語1-II ■□	LANs100LA	スペイン語の初級文法を習得する。発音や平易な文章の読解を通して初歩的な表現方法を学ぶ。スペイン語圏の諸地域について知る。											◎				
スペイン語2-I ■□	LANs100LA	スペイン語2-I ■□	LANs100LA	初級文法を各項目ごとにひとつひとつ押さえていながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を身につける。 春学期の授業では、発音や簡単な挨拶から始め、初歩的な動詞を用いた現在形の単純な文章を作ることができるようになることを目指す。											◎				

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類											
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>											
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例											
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>											
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要											
スペイン語2-II ■□	LANs100LA	スペイン語2-II ■□	LANs100LA	初級文法を各項目ごとにひとつひとつ押さえていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を身に付ける。 秋学期の授業では、種々の現在形不規則動詞から点過去形までの文法事項を学びながら、より複雑な構文に慣れるとともに、実際の生活に即した重要な単語や表現の習得に努める。											◎
スペイン語3-I ■	LANs200LA	スペイン語3-I ■	LANs200LA	1年次の初級文法での未習の分野を学習する。その上で、1年次に既習の分野もふくめて、この授業で、発展的な文法事項をあらたに学習する。それによって、作文や会話でさらに幅広い表現ができるようになる。くわえて、DELE、B2レベルの文法・語彙の試験で70%以上得点できる実力を身につける。聴き取り能力の向上も目指す。											◎
スペイン語3-II ■	LANs200LA	スペイン語3-II ■	LANs200LA	この授業で、接続法をはじめ、発展的な文法事項をあらたに学習することによって、作文や会話でさらに幅広い表現ができるようになる。くわえて、DELE、B2レベルの文法・語彙の試験で70%以上得点できる実力を身につける。聴き取り能力の向上も目指す。											◎
時事スペイン語 I ●	LANs200LA	—	—	スペイン語圏の世界遺産に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。											◎
時事スペイン語 II ●	LANs200LA	—	—	同上											◎
スペイン語コミュニケーション I ●	LANs200LA	スペイン語コミュニケーション I ●	LANs200LA	文法の復習をしながら口頭表現力の育成をめざし、より高度な文法・表現の知識を身につける。											◎
スペイン語コミュニケーション II ●	LANs200LA	スペイン語コミュニケーション II ●	LANs200LA	頭表現力の訓練を中心としつつ、より高度なスペイン語力の習得に必要な能力（話す・聴く・読む・書く）の強化をめざす。											◎
朝鮮語 I ▽	LANK100LA	朝鮮語 I ▽	LANK100LA	文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。											◎
朝鮮語 II ▽	LANK100LA	朝鮮語 II ▽	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。											◎
朝鮮語2 I ▽	LANK100LA	朝鮮語2 I ▽	LANK100LA	文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。											◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例									
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◆・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
朝鮮語2Ⅱ▽	LANK100LA	朝鮮語2Ⅱ▽	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。									◎
朝鮮語3AⅠ▽	LANK200LA	朝鮮語3Ⅰ▽	LANK200LA	身の回りのことや日常の簡単な出来事を、書いたり、会話したりできるようになる。中級程度の短い文章が読めるようになる。									◎
朝鮮語3AⅡ▽	LANK200LA	朝鮮語3Ⅱ▽	LANK200LA	身の回りのことや日常の簡単な出来事を、書いたり、話したりできるようになる。中級程度の短い文章が読めるようになる。									◎
朝鮮語3BⅠ▽	LANK200LA	朝鮮語3Ⅰ▽	LANK200LA	native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。 語彙・文型の知識の増強。 正しい発音ができるようになる。 辞書を引ながらまとまった文章が読めるようになる。									◎
朝鮮語3BⅡ▽	LANK200LA	朝鮮語3Ⅱ▽	LANK200LA	native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。 語彙・文型の知識の増強。 正しい発音ができるようになる。 辞書を引ながらまとまった文章を読めるようになる。									◎
朝鮮語3CⅠ＊	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーションⅠ●	LANK200LA	身近な会話ができることが到達目標であります。									◎
朝鮮語3CⅡ＊	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーションⅡ●	LANK200LA	朝鮮語初級と春学期の学習を定着しつつ、日常の会話を身に付けることあります。									◎
朝鮮語(1)Ⅰ★	LANK100LA	朝鮮語(1)Ⅰ★	LANK100LA	文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。									◎
朝鮮語(1)Ⅱ★	LANK100LA	朝鮮語(1)Ⅱ★	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。									◎
朝鮮語(2)Ⅰ★	LANK100LA	朝鮮語(2)Ⅰ★	LANK100LA	文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。									◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
朝鮮語(2)Ⅱ★	LANK100LA	朝鮮語(2)Ⅱ★	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。									◎						
朝鮮語(3)Ⅰ★	LANK200LA	朝鮮語(3)Ⅰ★	LANK200LA	朝鮮語の文法と語彙の知識を確かなものにし、正確な発音を身に付けることが目標です。									◎						
朝鮮語(3)Ⅱ★	LANK200LA	朝鮮語(3)Ⅱ★	LANK200LA	以上の授業内容を用いた基本文型をマスターし、簡単な文が作れることと基礎会話ができることを授業目標とします。									◎						
朝鮮語1◇	LANK100LA	朝鮮語1◇	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。									◎						
朝鮮語2◇	LANK100LA	朝鮮語2◇	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。									◎						
朝鮮語3◇	LANK100LA	朝鮮語3◇	LANK100LA	自然な読み方と簡単な日常の会話ができることを目標とします。									◎						
朝鮮語4◇	LANK100LA	朝鮮語4◇	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。									◎						
朝鮮語5◇	LANK100LA	朝鮮語5◇	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。									◎						
朝鮮語6◇	LANK100LA	朝鮮語6◇	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。									◎						
朝鮮語7◇	LANK200LA	朝鮮語7◇	LANK200LA	S A Iに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。									◎						

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
朝鮮語8◇	LANK200LA	朝鮮語8◇	LANK200LA	SAに通用する語学力の習得。具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。								◎	
朝鮮語1-I ■□	LANK100LA	朝鮮語1-I ■□	LANK100LA	文字の読み書きができるようになること。基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。								◎	
朝鮮語1-II ■□	LANK100LA	朝鮮語1-II ■□	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。								◎	
朝鮮語2-I ■□	LANK100LA	朝鮮語2-I ■□	LANK100LA	文字の読み書きができるようになること。基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。								◎	
朝鮮語2-II ■□	LANK100LA	朝鮮語2-II ■□	LANK100LA	授業で学んだ文の読み書きができる。できれば声に出して言えることが目標です。								◎	
朝鮮語3-I ■	LANK200LA	朝鮮語3-I ■	LANK200LA	nativespeaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。 語彙・文型の知識の増強。 正しい発音ができるようになる。 辞書を引ながらまとまった文章が読めるようになる。								◎	
朝鮮語3-II ■	LANK200LA	朝鮮語3-II ■	LANK200LA	同上								◎	
朝鮮語3C-I ■□	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーションI ●	LANK200LA	身近な会話ができることが到達目標であります。								◎	
朝鮮語3C-II ■□	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーションII ●	LANK200LA	朝鮮語初級と春学期の学習を定着しつつ、日常の会話を身に付けることとあります。								◎	
朝鮮語4A I ▽	LANK200LA	朝鮮語4 I ▽	LANK200LA	ハングル検定4級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。								◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。          ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。          【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）          大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野          文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野          1. 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野          自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野          情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野          英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。          1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野          英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野          1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）          ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文          ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営          ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化          ★・・・法 ■・・・人間環境          □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
朝鮮語4AⅡ▽	LANK200LA	朝鮮語4Ⅱ▽	LANK200LA	できれば、希望者はハングル検定4級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。													◎		
朝鮮語4BⅠ＊	LANK200LA	朝鮮語視聴覚Ⅰ＊	LANK200LA	1. 韓国の小説・ドラマ・歌・スピーチ・アナウンスなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。 2. スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現を学ぶ。 3. 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。 学生の人数・レベル・ニーズを見て小説・ドラマを適宜変更する。														◎	
朝鮮語4BⅡ＊	LANK200LA	朝鮮語視聴覚Ⅱ＊	LANK200LA	同上														◎	
朝鮮語5AⅠ＊	LANK200LA	朝鮮語講読Ⅰ＊	LANK200LA	・講読テキストの訳文を作成・検討することで、朝鮮語の長い文章を正確に読む力を身につけていきます。 ・講読テキストに出てきた単語・慣用句、朝鮮語独特の表現・言い回しを整理することで、これまで学んできた文法事項を確認するとともに、朝鮮語の読解力・表現力を高めていきます。 ・紀行文・小説の内容を議論しながら、朝鮮の近現代史や現在の社会問題についての理解を深めていきます。														◎	
朝鮮語5AⅡ＊	LANK200LA	朝鮮語講読Ⅱ＊	LANK200LA	・講読テキストの訳文を作成・検討することで、朝鮮語の長い文章を正確に読む力を身につけていきます。 ・講読テキストに出てきた単語・慣用句、朝鮮語独特の表現・言い回しを整理することで、これまで学んできた文法事項を確認するとともに、朝鮮語の読解力・表現力を高めていきます。 ・紀行文の内容を議論しながら、朝鮮の植民地期の歴史や現在の社会問題についての理解を深めていきます。														◎	
朝鮮語5BⅠ＊	LANK200LA	朝鮮語表現Ⅰ＊	LANK200LA	実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、簡単な読み物を読んだり、身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。														◎	
朝鮮語5BⅡ＊	LANK200LA	朝鮮語表現Ⅱ＊	LANK200LA	実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、簡単な読み物を読んだり、身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。														◎	
朝鮮語4B-Ⅰ■□	LANK200LA	朝鮮語視聴覚Ⅰ●	LANK200LA	・韓国の小説・ドラマ・歌・スピーチ・アナウンスなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。 ・スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現を学ぶ。 ・発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。 学生の人数・レベル・ニーズを見て小説・ドラマを適宜変更する。														◎	
朝鮮語4B-Ⅱ■□	LANK200LA	朝鮮語視聴覚Ⅱ●	LANK200LA	同上														◎	
朝鮮語5A-Ⅰ■□	LANK200LA	朝鮮語講読Ⅰ●	LANK200LA	・講読テキストの訳文を作成・検討することで、朝鮮語の長い文章を正確に読む力を身につけていきます。 ・講読テキストに出てきた単語・慣用句、朝鮮語独特の表現・言い回しを整理することで、これまで学んできた文法事項を確認するとともに、朝鮮語の読解力・表現力を高めていきます。 ・紀行文・小説の内容を議論しながら、朝鮮の近現代史や現在の社会問題についての理解を深めていきます。														◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類														
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを涵養する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。</p>														
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目														
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要														
朝鮮語5A-II ■□	LANK200LA	朝鮮語講読II ●	LANK200LA	・講読テキストの訳文を作成・検討することで、朝鮮語の長い文章を正確に読む力を身につけていきます。 ・講読テキストに出てきた単語・慣用句、朝鮮語独特の表現・言い回しを整理することで、これまで学んできた文法事項を確認するとともに、朝鮮語の語彙力・表現力を高めます。 ・紀行文の内容を議論しながら、朝鮮の植民地期の歴史や現在の社会問題についての理解を深めていきます。													◎	
朝鮮語5B-I ■□	LANK200LA	朝鮮語表現法I ●	LANK200LA	実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、簡単な読み物を読んだり、身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。														◎
朝鮮語5B-II ■□	LANK200LA	朝鮮語表現法II ●	LANK200LA	同上														◎
日本語1I ▽	LANj100LA	日本語1-I ▽	LANj100LA	・学生は、講義や発表の概要をつかめるようになる。 ・学生は、ノートテイキングができるようになる。 ・学生は、聞いたことの要約ができるようになる。														◎
日本語1II ▽	LANj100LA	日本語1-II ▽	LANj100LA	・学生は、講義やゼミの受講に必要な聴解・読解力がつく。 ・学生は、ノートテイキングができるようになる。 ・学生は、理解した内容について自分の意見を発表できるようにする。														◎
日本語2I ▽	LANj100LA	日本語2-I ▽	LANj100LA	・N2レベル以上の語彙を文章の中で使用できるようになる。 ・的確な表現を使い、正しい構造の文が書けるようになる。 ・論述文を書くためのスキルが身につく、短い論述文が書けるようになる。														◎
日本語2II ▽	LANj100LA	日本語2-II ▽	LANj100LA	・学生は、日本語表現能力が向上する。 ・学生は、レポート・小論文を作成するための基礎的スキルが身につく。														◎
日本語3I ▽	LANj200LA	日本語3-I ▽	LANj200LA	学生は、読解練習した内容について、筆者の意図等を正確に理解し、簡潔にまとめられるようになる。また、そのテーマについて、自分の意見を、聞き手にわかりやすく説明することができるようになる。														◎
日本語3II ▽	LANj200LA	日本語3-II ▽	LANj200LA	学生は、読解練習した内容について、筆者の意図等を正確に理解し、簡潔にまとめられるようになる。また、そのテーマについて、批判的に読み、自分の意見を聞き手にわかりやすく述べることができるようになる。														◎
日本語4I ▽	LANj200LA	日本語4-I ▽	LANj200LA	日本語テキストの内容をできるだけ主観的なバイアスをかけないように読み取ることができるようになること。														◎



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
日本語4Ⅱ▽	LANj200LA	日本語4-Ⅱ▽	LANj200LA	やや論文的なテキストを使用し、最終的に日本語テキストの内容を精確に読み取る能力を訓練する。これは専門のための勉強にも直接役立つ能力であるので、しっかりくらいついてきてほしい。													◎		
日本語1-Ⅰ◇■□	LANj100LA	日本語1-Ⅰ◇■□	LANj100LA	・学生は、講義や発表の概要をつかめるようになる。 ・学生は、ノートテイキングができるようになる。 ・学生は、聞いたことの要約ができるようになる。														◎	
日本語1-Ⅱ◇■□	LANj100LA	日本語1-Ⅱ◇■□	LANj100LA	・学生は、講義やゼミの受講に必要な聴解・読解力がつく。 ・学生は、ノートテイキングができるようになる。 ・学生は、理解した内容について自分の意見を発表できるようになる。														◎	
日本語2-Ⅰ◇■□	LANj100LA	日本語2-Ⅰ◇■□	LANj100LA	・N2レベル以上の語彙を文章の中で使用できるようになる。 ・的確な表現を使い、正しい構造の文が書けるようになる。 ・論述文を書くためのスキルが身につく、短い論述文が書けるようになる。														◎	
日本語2-Ⅱ◇■□	LANj100LA	日本語2-Ⅱ◇■□	LANj100LA	・学生は、日本語表現能力が向上する。 ・学生は、レポート・小論文を作成するための基礎的スキルが身につく。														◎	
日本語3-Ⅰ◇■□	LANj200LA	日本語3-Ⅰ◇■□	LANj200LA	学生は、読解練習した内容について、筆者の意図等を正確に理解し、簡潔にまとめられるようになる。また、そのテーマについて、自分の意見を、聞き手にわかりやすく説明することができるようになる。														◎	
日本語3-Ⅱ◇■□	LANj200LA	日本語3-Ⅱ◇■□	LANj200LA	学生は、読解練習した内容について、筆者の意図等を正確に理解し、簡潔にまとめられるようになる。また、そのテーマについて、批判的に読み、自分の意見を聞き手にわかりやすく述べることができるようになる。														◎	
日本語4-Ⅰ◇■□	LANj200LA	日本語4-Ⅰ◇■□	LANj200LA	日本語テキストの内容をできるだけ主観的なバイアスをかけないように読み取ることができるようになること。														◎	
日本語4-Ⅱ◇■□	LANj200LA	日本語4-Ⅱ◇■□	LANj200LA	やや論文的なテキストを使用し、最終的に日本語テキストの内容を精確に読み取る能力を訓練する。これは専門のための勉強にも直接役立つ能力であるので、しっかりくらいついてきてほしい。														◎	
—	—	日本語コミュニケーションⅠ●	LANj300LA	文化の異なりについて理解すること。														◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類								
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例								
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◆・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要								
—	—	日本語コミュニケーションⅡ●	LANJ300LA	この授業で培った知識と技能によってより日本人とよりスムーズなコミュニケーションができるようになること。								◎
総合科目												
人文科学系												
キリスト教思想史A*	PHL300LA	キリスト教思想論*	PHL200LA	キリスト教を学問の対象に据えて、客観的かつ公平な視点からキリスト教思想の重要な点を年代をおって考察する。信仰への道を脱くのが授業の狙いではない。あくまで一つの宗教として、その特徴を、問題点も含めて冷静に考えていく。								◎
キリスト教思想史B*	PHL300LA			キリスト教を学問の対象に据えて、客観的かつ公平な視点からキリスト教思想の重要な点を年代をおって考察する。中世西欧社会からイタリア・ルネサンス社会がとくに対象になる。								◎
クィア・スタディーズA*	GDR300LA	クィア・スタディーズA*	GDR300LA	1、クィア・スタディーズについての基礎的な知識を身につける。 2、普段から何気なく触れている社会現象や表象テキストを批判的に読み解く力を養う。								◎
クィア・スタディーズB*	GDR300LA	クィア・スタディーズB*		1、クィア・スタディーズという視座から表象テキストを批判的に読み解く力を養う。 2、とりあげたトピックに関する基礎的な知識を身につける。 3、表象をめぐる倫理について理解する。								◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学の本質にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
教養ゼミⅠ（文芸創作の実践A）＊	LIT300LA	文章論-文章表現の実践＊	LIT200LA	小説や詩歌の創作を通して、自分の中の書きたいという欲求や衝動をどのように形にするか、さまざまな認識や思いを表現し、定着させて読み手に伝えるにはどのような技術や工夫が必要かという、創作的文章表現（クリエイティブ・ライティング）における基礎的な要素を学び、作品として完成させること。 他者の作品をさまざまな角度から読解し、分析し、批評する客観的な力を獲得するとともに、それを自身にフィードバックさせることで、より高度な文章表現力を身につけること。															
教養ゼミⅡ（文芸創作の実践B）＊	LIT300LA			小説や詩歌の創作を通して、自分の中の書きたいという欲求や衝動をどのように形にするか、さまざまな思いや認識を表現し、定着させて他者に伝えるにはどのような工夫や技術が必要かという、創作における基礎的な要素を学び、作品として完成させること。 他者の作品をさまざまな角度から読解し、分析し、批評する客観的な力を獲得するとともに、それを自身にフィードバックさせることで、より高度な文章表現力を身につけること。 受講者の作品を一部の作品集にまとめる過程で、校正・編集などにかかわる基礎的な方法を学ぶこと。															
教養ゼミⅠ（思想と文学）＊	LIT300LA	現代を生きる我々にとっての大変アクチュアルな諸問題について、新たな視点を得ます。 春学期は他者とはなにかについての新たな視点を得ます。	PHL200LA	◎															
教養ゼミⅡ（思想と文学）＊	LIT300LA			◎ <small>秋学期の具体的な到達目標は、次の2つのテーマを学び、グローバル化がもたらすかを理解できるようにすることである。 テーマⅠ「インターネット・デジタル・グローバル化」 テーマⅡ「資本主義の課題」</small>															
教養ゼミⅠ（他者に認められるとはどういうことか―「承認」の哲学(1)）＊	PHL300LA	人間存在論＊	PHL200LA	(1) 柄谷行人の思想・哲学について説明することができる。 (2) 日本の哲学について説明することができる。 (3) 日本と西洋との思考の違いについて、比較することができる。 (4) 自らの思想を鍛錬することができる。															
教養ゼミⅡ（他者から認められるとはどういうことか?―「承認」の哲学(2)）＊	PHL300LA			◎															
教養ゼミⅠ（在日朝鮮人の歴史A）＊	HIS300LA	在日朝鮮人の歴史＊	HIS200LA	文献や映像などを手がかりに、受講生が日常生活の中で無意識に形成している「先入観」を再検証しながら、受講生同士の討論を深め、それぞれの考えや理解を発展させていくことを目指す。総合科目なので、受身の勉強ではなく、受講生同士が見解を発表し、互いに刺激し合い、自ら調べたり、問題を発見したりして、積極的に授業内で発信していくスキルを磨くことを、年間を通しての基本とする。															
教養ゼミⅡ（在日朝鮮人の歴史B）＊	HIS300LA			◎															
教養ゼミⅠ（アラビア語への招待Ⅰ）＊	ARSh300LA	アラブの言語と文化＊	ARSh200LA	1年間で、なんとか基本的な文法をマスターし、自力で先に勉強を進めていける素地を身につけてもらいたいと希望します。 文法が理解できていないと辞書も引くことができないのがアラビア語の持つ困難点です。辞書が引けるようになること、これが目標です。															
教養ゼミⅡ（アラビア語への招待Ⅱ）＊	ARSh300LA			◎															

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																			
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>Ⅶ. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを導くための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>					
カリキュラム（科目一覧）																							
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				科目名称（2017年度以降入学者）		ナンバリング（2017年度以降入学者）		科目名称（2016年度以前入学者）		ナンバリング（2016年度以前入学者）		到達目標概要		記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
教養ゼミⅠ（アフロアジア入門）＊		ARSh300LA		アフロアジア入門＊		ARSh200LA		1年間で基礎的なスワヒリ語の知識をマスターし、辞書を引きながら、文学・新聞など読みたいものが読める力をつけてもらうのが目標です。				◎											
教養ゼミⅡ（アフロアジア入門）＊		ARSh300LA		同上				同上				◎											

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																	
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。          ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。          【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）          大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野          文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野          1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野          自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野          情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野          英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。          1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野          英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野          1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>																	
カリキュラム（科目一覧）																					
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>																					
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																
社会科学系																					
法哲学A*	LAW300LA	法哲学*	LAW200LA	①法哲学の基礎的な理論を理解し、そこでの主要な論点や問題点を把握する。 ②法哲学的な視点と考え方を身につけ、現代社会の具体的課題・問題に対して（表層にとどまらない）根源的観点からの検討と議論ができるようになる。 ③上記①②を踏まえて、個々の社会的問題に関する自説を合理的根拠を通じて論じられるようになる。																	
法哲学B*	LAW300LA			同上																	
福祉社会論A*	SOC300LA	福祉社会論*	SOC200LA	2018年度休講																	
福祉社会論B*	SOC300LA			この授業では、社会福祉の概念を理解し、福祉的な社会とは何かを構想するとともに、社会による福祉とはどういったものなのか、政府以外の福祉の供給源、具体的には家族や企業などに目配りをしながら考察し、最終的には社会福祉をメタ的な視点から捉える力を養う。																	
人文地理学セミナーA*	HUG300LA	人文地理学セミナー*	HUG200LA	現代世界を地理的に理解する視点＝世界観を養い、様々なテーマについて自分なりの定見を持つようにします。																	
人文地理学セミナーB*	HUG300LA			同上																	
文化人類学方法論A*	CUA300LA	文化人類学方法論*	CUA200LA	①アグリビジネスの世界支配の実態を理解する ②マレーシア、インドネシアのアブラヤシ開発の実態を理解する ③アグリビジネスにおける労働者の位置を理解する																	
文化人類学方法論B*	CUA300LA			1 アジア、特に東南アジアにおける開発主義について理解する 2 開発主義により熱帯林が破壊されている状況を理解する 3 熱帯林の資源管理の実態について理解する 4 熱帯林をめぐる紛争の現実を理解する																	
教養ゼミⅠ（20歳で考える今の政治と未来の政治A）*	POL300LA	政治思想*	POL200LA	未定																	
教養ゼミⅡ（20歳で考える今の政治と未来の政治B）*	POL300LA			未定																	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																							
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>			<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>			<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>			<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>			<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>			<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>			<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性などを、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																							
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要																							
人間行動学A*	PSY300LA	人間行動学*	PSY200LA	心理学の領域は広くも展開可能です。心の操作（マインドコントロール）や洗脳まがいなことには警戒心を高め、ストレスへの対処やレジリエンス、ポジティブな生き方のために活用できます。 「心の性」や「心の商」とは何か。家族や友人その他さまざまな人々との交わり、もつれから生まれる絆、社会（人間性）や仕事、マイペース、アングロイド、あるいはクローン等々を比べることで、ヒトの心もしくは意識の深層が分かるのか。さて、「心」とは何ぞや。「心」はどこにあるのか。知って思えることが可能です。 その程度の特異的な意識の過程こそが科学的な態度、との立場で、相互に對話・議論を積み上げて検討し、参加者自身が感じたい考え、それぞれが、そのときどきの答えを見出したいけるようになることを目指します。																							
人間行動学B*	PSY300LA		同上	◎																							
沖縄を考えるA*	ARSe300LA	総合講座—沖縄を考える—*	ARSe200LA	毎回、授業内容に対する感想文（ミニ・レポート）を書き、理解を形にして残し、沖縄の歴史と現在を知り、日本と沖縄の関係あるいは日本の政治・経済・文化の在り方について相対化して考える能力を身につける。																							
沖縄を考えるB*	ARSe300LA		同上	◎																							
グローバル社会の地域研究A*	ARSk300LA	グローバル社会の地域研究*	ARSk200LA	「グローバル化」に伴う地域変容をとらえようとすることによって、現代の地域社会、現代世界のトータルな理解を深めていきます。																							
グローバル社会の地域研究B*	ARSk300LA		同上	◎																							
教養ゼミⅠ（1960年代の政治と音楽）*	POL300LA	現代政治学の基礎*	POL200LA	基本的目標は次の通りである。 60年代の政治を、主としてUSAを対象にして理解すること カウンター・カルチャーの思想と運動の特徴について理解すること USAの広義のフォーク・ミュージックから生み出されたポピュラー・ミュージックの中から、特にサイケデリック・ロックについて考察する カウンター・カルチャーがもたらした（と思われる）現代への影響について考察する																							
教養ゼミⅡ（新自由主義の時代の政治と音楽）*	POL300LA		同上	基本的目標は次の通りである。 新自由主義を統治の様式として理解する サッチャー政権の政治とその後のUK政治について理解する UKの政治と音楽について考察する マンチェスター発の音楽の意味について考察する																							
教養ゼミⅠ（グローバル経済の課題と展望A）*	ECN300LA	グローバル経済論*	ECN200LA	春学期の具体的な到達目標は、次の3つ。 ①グローバルゼーション論争（グローバルゼーションは近代の現象か、ポスト近代を招来させるか） ②グローバルゼーションが経済に与えた影響 ③21世紀の中心領域は何か。 について自ら考えて、自分の意見が言えるようになる。																							
教養ゼミⅡ（グローバル経済の課題と展望B）*	ECN300LA		同上	秋学期の具体的な到達目標は、次の3つ。 ①米国やEUを非公式の同盟とみなすべきか否か ②米国の「金融機関」化に対して日本はいかに対応すべきか ③21世紀は近代システムが続くのか、あるいはそれによって代わるシステムがあるのか について自らの意見を述べるができるようになる。																							

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）																			
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				科目名称（2017年度以降入学者）		ナンバリング（2017年度以降入学者）		科目名称（2016年度以前入学者）		ナンバリング（2016年度以前入学者）		到達目標概要		記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目					
教養ゼミⅠ（心理的ウェルビーイングを考えるA）*	PSY300LA	人間発達学*	PSY200LA	臨床心理学（カウンセリング）の文脈を軸とし討論を行うなかで、人間の心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけてもらいたいと考えている。また、本授業がめざす目標をさらに深化させるために、教養ゼミⅡ「心理的ウェルビーイングを考えるB」を連続履修することを期待する。 最終的には、この授業が目的のままさまざまな経験に対する受講者自身の考察を深め、自分自身をよりよく理解するための「場」になればと考えている。	◎														
教養ゼミⅡ（心理的ウェルビーイングを考えるB）*	PSY300LA			文系学部、社会科学系分野の文脈を軸とし討論を行うなかで、人間の心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけてもらいたいと考えている。特に、文化の歴史や精神の形成やその影響を捉えることのできる能力を身につけてもらいたいと考えている。また、本授業がめざす目標をさらに深化させるために、教養ゼミⅠ「心理的ウェルビーイングを考えるA」を連続履修することを期待する。 最終的には、この授業が目的のままさまざまな経験に対する受講者自身の考察を深め、自分自身をよりよく理解するための「場」になればと考えている。	◎														
自然科学系																			
自然環境のしくみとその変貌A*	ENV300LA	自然環境のしくみとその変貌*	ENV200LA	・気象学、気候学の知識により自然環境を理解する。 ・自然環境への人為のかかりについて検討する。 ・自然環境の変化による異常気象を把握する。 ・自然環境変化の予測を考察する。 ・人為によって変化した自然環境の問題点とその対策について考察し、まとめる。 ・課題論文をまとめることにより、論文を理解する力をつける。 ・発表することによりプレゼンテーション能力を高め、質問、意見、討論などにより議論する力をつける	◎														
自然環境のしくみとその変貌B*	ENV300LA			・気象学、気候学の知識により地球温暖化を理解する。 ・地球温暖化への人為のかかりについて検討する。 ・地球温暖化の予測を考察する。 ・人為によって変化した地球温暖化の問題点とその対策について考察し、まとめる。 ・発表することによりプレゼンテーション能力を高め、質問、意見、討論などにより議論する力をつける。	◎														
数理論理学A*	MAT300LA	論理って何だ?*	MAT200LA	最小論理の範囲で、推論規則を用いて演繹を表現することができる。	○														
数理論理学B*	MAT300LA			直観主義論理および古典論理の範囲で、推論規則を用いて演繹を表現することができる。	○														
計算と言語のしくみ*	MAT300LA	コンピュータの裏側*	MAT200LA	本講義では「コンピュータの装置とその上で言語が処理される仕組みの本質を大雑把に理解すること」を大きな目標としている。（例えば、電卓とPCの本質的な違いを解明された時、皆さんは本当に説明できるでしょうか？）処理の速い・遅い・依存しない等といった動作原理を理解することは、コンピュータを使用する上でも様々な場面での意思をもちやすくなる。	◎														
コンピュータと数理の活用*	MAT300LA			講義では「プログラムの全てを自分で設計・作成すること」までは想定せず、あくまでも用意したプログラムを活用して「出来るだけ多くの事例に基づいて、コンピュータと数理の活用の勘を養うこと」を目標としている。そのため、各々の課題で使う数学やアルゴリズムの内容は設定されていて、利用するソフトウェアも様々なものがある。（このことは、1つの課題が理解できなくても、次の課題に影響を与えないという利点もある。）	◎														

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>○・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
確率の世界A*	MAT300LA	確率・統計*	MAT200LA	<p>春学期の授業では、我々が普段からなんとなく使っている「確率論」っぽい考え方を数学的に定式化し、代表的な確率分布である二項分布を理解することを目的とする。興味のもてるような題材を数多く用意するつもりである。</p>															
確率の世界B*	MAT300LA		MAT200LA	<p>秋学期の授業では確率論の重要な応用分野のひとつである「統計学」を学ぶ。現在、高校では統計をまったくやらないか、その「さわり」を教えるくらいである。この授業ではもう少し本格的な統計を扱いたい。興味のもてるような題材を数多く用意するつもりである。</p>															
集合論A*	MAT300LA	集合論*	MAT200LA	<p>次のような疑問に対して答えることができる。            ・無限集合を持つ、有限集合とは異なる性質とは？            ・無限にも大小はあるか。1個、2個、…の先は？</p>															
集合論B*	MAT300LA		MAT200LA	<p>次のような疑問に対して答えることができる。            ・物を並べる、つまり物の間に順番を与える、とは？            ・無限の物を並べられるか。1番、2番、…の先は？</p>															
相対性理論と宇宙A*	PHY300LA	相対性理論と宇宙*	PHY200LA	2018年度休講															
相対性理論と宇宙B*	PHY300LA		PHY200LA																
現代の錬金術A*	PHY300LA	現代の錬金術*	PHY200LA	<p>・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。            ・我々を構成している物質の成り立ちについて科学的な理解を持つことができる。</p>															
現代の錬金術B*	PHY300LA		PHY200LA	<p>・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。            ・我々を構成している物質の成り立ちについて科学的な理解を持つことができる。</p>															
原子核と素粒子A*	PHY300LA	原子核と素粒子 -ミクロの世界-*	PHY200LA	<p>この講義では、原子核や素粒子を通してミクロの世界について、応用技術も含めて理解できるようになることを目標としている。また元素の存在比や原子の構造を理解することによって、「原子核と素粒子」での原子核・素粒子、宇宙についての理解の手助けとなる知識の習得を目標としている。新しい発見等を随時講義に取り上げながら、ミクロとマクロに対する現代物理学の最先端に接してもらう予定である。</p>															
原子核と素粒子B*	PHY300LA		PHY200LA	<p>この講義では、原子核や素粒子を通してミクロの世界について、応用技術も含めて理解できるようになることを目標としている。またミクロの世界を通してマクロである宇宙の進化を学ぶことによって、この広大な宇宙の中で、私たちの体や地球を作る材料はいついどのようして合成されたのかということも理解できるようになることを目標としている。新しい発見等を随時講義に取り上げながら、ミクロとマクロに対する現代物理学の最先端に接してもらう予定である。</p>															



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p> <p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p> <p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p> <p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p> <p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p> <p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p> <p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p> <p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>									
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
生命情報科学*	BI0300LA	生物哲学*	BI0200LA	1. 生命活動における情報（主に遺伝情報）の役割について、計算機が扱う情報と対比しつつ理解する。 2. 学問としての生命科学じたいも情報集約的な特徴を持っている。それは近年のバイオ研究の推進にもない無難となり、現在は「情報の洪水」が起きている。この情報量の増大に対応するため、情報科学の技術（データベースやインターネット）を取り入れた新しい方法論が生まれつつある。その現状を理解し、各自の専門に役立ててもらう。									
生物哲学*	BI0300LA		BI0300LA	生物学における知識のあり方が物理・化学とは大きく異なることを理解する。これにより日常接する生物に関する情報をより的確に把握し、活用できるようになることを目指す。									
イオンの科学A*	CHM300LA	イオンの科学*	CHM200LA	イオンは、物質から電気エネルギーを取り出したり、美しい光沢を持った金属の製造だけでなく、有機物の状態や見た目を変化させたり、化学反応を進める上でも重要な役割を果たしています。これらの現象とイオンの性質の関係を理解することで、身の回りの物質や製品についてより深い興味を引き出すことを目標とします。									
イオンの科学B*	CHM300LA		CHM300LA	同上									
光と色の科学A*	CHM300LA	光と色の科学*	CHM200LA	人間の目がどうやって色を認識するのか理解できます。人々の目の色、電球、蛍光灯が光を仕組みと違いを学ぶ。自然界にある色、あるいは人工的に作り出された色と光の関係を科学的に理解する。分子や原子の世界を思い描きながら、光と物質が作り出す身の回りのいろいろな現象の仕組みを理解することを目標としています。									
光と色の科学B*	CHM300LA		CHM300LA	同上									
物質の科学A*	CHM300LA	物質科学*	CHM200LA	本授業では、石けんからエッセンシャルオイルまで、我々に身近な物質を幅広く取りあげます。化学実験を取り入れた授業を行い、各テーマに現れる物質の性質や反応について基礎的に理解することを目標とします。作成したものの一部は持ち帰ることが出来るので、授業に対する興味が増すとされます。また、これまで化学を履修したことがなくても授業を理解できるように配慮いたします。									
物質の科学B*	CHM300LA		CHM300LA	同上									
ITリテラシー*	PRI300LA	ITリテラシー*	PRI200LA	講義形式で、情報技術に必要な基本的な知識を習得することを目標とする。計算をする問題だけでなく、社会科学分野での問題と情報通信技術との関わりについての話題にも関心を持ち、自分で解決する能力を養う。可能であれば、情報に関する初歩の資格試験に合格することを目標とする。									
コンピュータ科学*	PRI300LA		PRI300LA	同上									

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。		I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。		II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。		III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。		IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。		V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。		VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。		VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。	
カリキュラム（科目一覧）				科目凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
現代科学の新しい目A*	PHY300LA	現代科学の新しい目*	PHY200LA	・科学の発展の基礎がどこにあるのか理解する。 ・色々な科学成果が、“何故そのようなのか”、自分で理解でき、人に説明できる能力を身につける。 ・データ解析の初歩を身につける。														◎	
現代科学の新しい目B*	PHY300LA		同上																◎
エネルギーを考えるA*	PHY300LA	エネルギーを考える*	PHY200LA	2018年度休講														◎	
エネルギーを考えるB*	PHY300LA																		◎
人間と地球環境*	BI0300LA	人間と地球環境*	BI0200LA	・種々の環境問題を理解する上で不可欠な科学的基礎知識を取得すること。 ・環境問題の科学的側面だけでなく、関連する社会的問題を理解すること。 ・各種問題の関連性を理解し、人間社会が直面している問題の全体像を把握すること。														◎	
Human Impact on the Global Environment*	BI0300LA	Human impact on the global environment*	BI0200LA	This course provides students with opportunities to learn about currently important ecological and social issues in English. As such, the course objectives are - to understand basic scientific concepts required to comprehend various environmental problems. - to understand social problems related to the environmental problems dealt with in this course, and - to understand interrelated nature of these problems to grasp the big picture of the current state of human society.														◎	
教養ゼミⅠ（～沖縄本島北部ヤンバル地域の自然と文化～）*	BI0300LA	自然史*	BI0200LA	命を考えるための基礎としての自然と人間についての価値観を考え、社会活動・社会生活の中に活かすことの出来るように説明できること。 年度の最後に、種々の資料を付合わせて、各自の成果を発表にまとめる。														◎	
教養ゼミⅡ（～沖縄本島北部ヤンバル地域の自然と文化～）*	BI0300LA		同上																◎
教養ゼミⅠ（バイオイメージング）*	BI0300LA	バイオイメージングの世界*	BI0200LA	1. 基本操作技術の修得（デジタルカメラを用いた、マクロ撮影法、インターバル撮影法、高速撮影法、スタジオ撮影法、画像解析法など） 2. 測定距離（1/10の発射、結果の成長、アリの歩行、ダンゴムシの歩行パターン、ナントムシの飛翔、プラナリアの再生 など）を通じた問題解決手順の修得 3. ノートの取り方の修得（授業中に行った事をどれだけ判りやすくノートに要約できるかを学びます。）														◎	
教養ゼミⅡ（バイオイメージング）*	BI0300LA		生き物の不思議を、体験的に学ぶと同時に、以下の能力を取得することを目標とします。 1. 実験の計画立案とその企画書の作成能力 2. 計画実施能力 3. 迅速力 4. プレゼン・発表力															◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
言語系																			
第三外国語としてのドイツ語A*	LANd300LA	ドイツ語初級Ⅰ*	LANd200LA	初級ドイツ語としての必要な文法事項を習得し、また、ドイツ語の表現を身につける。次の段階のドイツ語に取り組める初級ドイツ語の理解力・表現力の養成をめざす。									◎						
第三外国語としてのドイツ語B*	LANd300LA	ドイツ語初級Ⅱ*	LANd200LA	春学期に学んだことを確実に理解し、ドイツ語の基本的な文法の全体像の習得を目指す。									◎						
ドイツ語コミュニケーション中級A*	LANd300LA	ドイツ語コミュニケーションⅢ*	LANd300LA	この授業では特に話す能力とリスニングの力を伸ばすことによってドイツ語のコミュニケーション能力を総合的にステップアップします。これまでに学習した文法的应用と、新たに学ぶ表現や単語を会話で実践的に運用できるようにすることを目指しています。									◎						
ドイツ語コミュニケーション中級B*	LANd300LA	ドイツ語コミュニケーションⅣ*	LANd300LA	同上									◎						
留学ドイツ語A*	LANd300LA	留学ドイツ語Ⅰ*	LANd200LA	ドイツ語圏での生活、文化、教育、社会など多様なテーマに関する理解を深め、留学で特に重要になるリスニング力と自らの考えを「発信」する力を身につけることを到達目標とする。初級ドイツ語を終え、さらにドイツ語学習を続けたい学生は、独検三級以上合格を目指す語学力の習得を目標とする。									◎						
留学ドイツ語B*	LANd300LA	留学ドイツ語Ⅱ*	LANd200LA	ドイツ語圏での生活、文化、教育、社会など多様なテーマに関する理解をより深め、それについて自らの考えを発信し、ドイツ語での議論ができるようになる。留学先での授業を想定し、レポートを書く、あるいはプレゼンテーションができるようになる。									◎						
ドイツの思想A*	PHI300LA	ドイツの思想Ⅰ*	PHI300LA	初期ニーチェを中心にして、ニーチェ思想の基本特徴をとらえる。ニーチェのテクストにふれることによって、ニーチェ思想に対する理解を深める。概説書的なニーチェ像に還元できないニーチェ思想の豊かさ（多義性）、可能性、問題点を捉える。									◎						
ドイツの思想B*	PHI300LA	ドイツの思想Ⅱ*	PHI300LA	中期および後期ニーチェを中心にして、ニーチェ思想の基本特徴をとらえる。ニーチェのテクストにふれることによって、ニーチェ思想に対する理解を深める。図式的、概説書的なニーチェ像に還元できないニーチェ思想の豊かさ（多義性）、可能性、問題点にふれる。									◎						
ドイツ語圏の文学A*	LIT300LA	ドイツの文学Ⅰ*	LIT300LA	文学作品を詳細に読み、作品が成立する背景の理解とともに、テクストの読解と分析を通じて、作品世界を客観的かつ総合的に把握することができるようになる。									◎						
ドイツ語圏の文学B*	LIT300LA	ドイツの文学Ⅱ*	LIT300LA	同上									◎						



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類								
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要								
検定フランス語（中・上級）A*	LANf300LA	—	—	フランス語検定3級および準2級合格を目指す。仏検受験を予定している人、または将来的に受験したいと考えている人が受講することが望ましい。								◎
検定フランス語（中・上級）B*	LANf300LA	—	—	同上								◎
フランス語表現法A*	LANf300LA	フランス語表現法 I *	LANf300LA	DELF/DALFの試験も視野に入れながら、フランス語でまとめた文章を書く能力を目指す。まずは、一文ごとの正しい文章構造を理解した上で、文章と文章との接続関係の重要性を意識できるようになる。								◎
フランス語表現法B*	LANf300LA	フランス語表現法 II *	LANf300LA	同上								◎
フランス語講読A*	LANf300LA	フランス語講読 I *	LANf300LA	仏検準2級から2級程度のレベル到達を目指す。								◎
フランス語講読B*	LANf300LA	フランス語講読 II *	LANf300LA	同上								◎
第三外国語としてのロシア語A*	LANr300LA	ロシア語初級 I *	LANr200LA	ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。								◎
第三外国語としてのロシア語B*	LANr300LA	ロシア語初級 II *	LANr200LA	簡単な会話をロシア語で行える。必要最低限の情報をロシア語の文章から得る、またロシア語で伝えることができる。								◎
第三外国語としてのロシア語中級A*	LANr300LA	ロシア語中級 I *	LANr200LA	社会・文化に関する読んだ文書などをロシア語で朗読・理解できること。さらに同じレベルの文書の翻訳（露和・和露）ができること。								◎
第三外国語としてのロシア語中級B*	LANr300LA	ロシア語中級 II *	LANr200LA	同上								◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類										
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なりテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>			
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目										
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要										
実用ロシア語A*	LANr300LA	ロシア語コミュニケーションⅠ*	LANr300LA	授業で学んだテーマについてロシア語で会話ができること。ロシア語能力試験（ТРКИ）B1-B2 レベルの文章を聞き取りできること。同レベルのロシア語能力試験（ТРКИ）会話試験（Диалогическая речь）に向けて準備できること。									◎	
実用ロシア語B*	LANr300LA	ロシア語コミュニケーションⅡ*	LANr300LA	同上									◎	
ロシア語講読A*	LANr300LA	ロシア語講読Ⅰ*	LANr300LA	辞書を用いてロシア語の文章を読解することができる。ロシア語の質問を理解し、的確にロシア語で答えることができる。読解した内容を自分の言葉（ロシア語、日本語）で表現することができる。									◎	
ロシア語講読B*	LANr300LA	ロシア語講読Ⅱ*	LANr300LA	辞書を使ってロシア語の文章を読解することができる。ロシア語の質問を理解し、的確に答えることができる。読解した内容を自分の言葉で表現することができる。やさしい日本語の文章をロシア語で表現することができる。ロシア語の会話を理解し、的確に応えることができる。									◎	
時事ロシア語A*	LANr300LA	時事ロシア語Ⅰ*	LANr300LA	授業で学んだテーマに関するロシア語の新聞記事などの読解ができること。そのテーマに関するロシア語能力試験（ТРКИ）B1~B2 レベルの文章を聞き取りできること。									◎	
時事ロシア語B*	LANr300LA	時事ロシア語Ⅱ*	LANr300LA	同上									◎	
第三外国語としての中国語A*	LANc300LA	中国語初級Ⅰ*	LANc200LA	・ピンインで記された中国語の音節を正しく発音でき、綴れるようになる。・二音節の声調パターンを正確に発音でき、それを同じ音形パターンの別の語句の発音に適用できるようになる。・初歩的な文法の学習を通じて、中国語を構成する文(法)成分を認識、識別できるようになる。									◎	
第三外国語としての中国語B*	LANc300LA	中国語初級Ⅱ*	LANc200LA	発音の知識、能力の定着を目指すと共に、特に抽象的に文法的機能を受け持つ、いわゆる虚詞の習熟に意を用いる。									◎	
第三外国語としての中国語中級A*	LANc300LA	中国語中級Ⅰ*	LANc200LA	2018年度休講									◎	
第三外国語としての中国語中級B*	LANc300LA	中国語中級Ⅱ*	LANc200LA	2018年度休講									◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類									
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要									
中国語視聴覚中級A*	LANc300LA	—	—	2年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。正確な標準語の発音を身につけて、より自然な中国語を身に付けることを目標とする。									◎
中国語視聴覚中級B*	LANc300LA	—	—	同上									◎
中国語コミュニケーション中級A*	LANc300LA	中国語コミュニケーションⅢ▽	LANc300LA	これまで学習した中国語の文法・句型が定着し、自分の学生生活（留学生活も含む）だけでなく、日本社会の事情や慣習、または留学先で見聞した異文化社会のことを中国語で紹介することができる。また、他の人のお話が聞き取れ、そのうえ、質問をしたりして互いに会話のやりとりができる。									◎
中国語コミュニケーション中級B*	LANc300LA	中国語コミュニケーションⅣ*	LANc300LA	同上									◎
中国語講読A*	LANc300LA	中国語講読Ⅰ*	LANc300LA	中国語の語彙を増やし、文章に慣れ、読解力を深めることを目指します。									◎
中国語講読B*	LANc300LA	中国語講読Ⅱ*	LANc300LA	同上									◎
中国語講読中級A*	LANc300LA	時事中国語Ⅰ*	LANc300LA	簡単な中国の新聞を読むことができ、中検等の実力テストで得点20%増を目指します。									◎
中国語講読中級B*	LANc300LA	時事中国語Ⅱ*	LANc300LA	中国の新聞をスムーズに読むことができ、中国語上級実力試験に対応できるレベルを目指します。									◎
中国語作文中級A*	LANc300LA	中国語表現法Ⅲ*	LANc300LA	学校生活や日常生活に必要なこと、自分自身のことなどを中国語で書いて表現する能力を高めることを目指します。それと同時に作った文を正しい声調と自然なリズムで話せるようにも指導します。									◎
中国語作文中級B*	LANc300LA	中国語表現法Ⅳ*	LANc300LA	同上									◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類								
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを司るための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例								
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営・国際文化 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要								
資格中国語中級A*	LANc300LA	検定中国語Ⅲ*	LANc300LA	この授業の到達目標は以下の通りである。 (1) 過去問題のディクテーションを通じて、HSK3級合格に必要なリスニング力を身につける。 (2) 過去問題を解き、HSK3級合格に必要な文法力と語彙力、作文力を身につける。								◎
資格中国語中級B*	LANc300LA	検定中国語Ⅳ*	LANc300LA	この授業の到達目標は以下の通りである。 (1) 過去問題のディクテーションを通じて、HSK4級合格に必要なリスニング力を身につける。 (2) 過去問題を解き、HSK4級合格に必要な文法力と語彙力、作文力を身につける。								◎
資格中国語上級A*	LANc300LA	検定中国語Ⅴ*	LANc300LA	学校生活や日常生活に必要なこと、自分自身のことなどを中国語で書いて表現する能力を高めることを目指します。それと同時に作った文を正しい声調と自然なリズムで話せるようにも指導します。HSK5、6級が取れるよう目標にします。								◎
資格中国語上級B*	LANc300LA	検定中国語Ⅵ*	LANc300LA	同上								◎
中国語翻訳・通訳A*	LANc300LA	中国語コミュニケーションⅢ*	LANc300LA	これまで学習した中国語の文法・文型が定着し、自分の学生生活（留学生活も含む）だけでなく、日本社会の事情や慣習、または留学先で見聞した異文化社会のことを中国語で紹介することができる。また、他の人のお話が聞き取れ、そのうえ、質問をしたりして互いに会話のやりとりができる。								◎
中国語翻訳・通訳B*	LANc300LA	中国語コミュニケーションⅣ*	LANc300LA	同上								◎
中国語翻訳・通訳C*	LANc300LA	中国語表現法Ⅲ*	LANc300LA	学校生活や日常生活に必要なこと、自分自身のことなどを中国語で書いて表現する能力を高めることを目指します。それと同時に作った文を正しい声調と自然なリズムで話せるようにも指導します。								◎
中国語翻訳・通訳D*	LANc300LA	中国語表現法Ⅳ*	LANc300LA	同上								◎
第三外国語としてのスペイン語A*	LANs300LA	スペイン語初級Ⅰ*	LANs200LA	スペイン語の特徴を把握し、正しく発音する。自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようにする。スペイン語が話されている国の概要を理解する。								◎
第三外国語としてのスペイン語B*	LANs300LA	スペイン語初級Ⅱ*	LANs200LA	動詞の現在時制の活用と用法を覚える。簡単な日常会話・文章読解・作文ができるようになる。スペイン語圏の社会や文化に関する理解を深める。								◎



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>			<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である。ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例															
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 *・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン</p>				<p>◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
第三外国語としてのスペイン語中級A*	LANs300LA	スペイン語中級Ⅰ*	LANs200LA	1課ごとにひと月づつ、スペイン語圏の祝祭を紹介しているテキストを読解しながら、学習した文法事項を応用させ、中級レベルの長文読解ができるようになる。また、授業で取り上げるテキスト等を入口に、スペイン語圏の文化や社会に関する理解を深める。											◎				
第三外国語としてのスペイン語中級B*	LANs300LA	スペイン語中級Ⅱ*	LANs200LA	同上											◎				
スペイン語上級A*	LANs300LA	スペイン語上級Ⅰ*	LANs300LA	新聞や小説など、中身の濃い文章を理解できるようになる。日常会話だけでなく、複雑な内容の議論ができるようになる。DELEで言えば、B2-C1レベル。											◎				
スペイン語上級B*	LANs300LA	スペイン語上級Ⅱ*	LANs300LA	同上											◎				
スペイン語コミュニケーション中級A*	LANs300LA	スペイン語コミュニケーションⅢ*	LANs300LA	口頭表現力の訓練を中心としつつ、より高度なスペイン語力の習得の強化をめざす。											◎				
スペイン語コミュニケーション中級B*	LANs300LA	スペイン語コミュニケーションⅣ*	LANs300LA	同上											◎				
スペイン語講読A*	LANs300LA	—	—	新聞記事や小説など、さまざまなジャンルのスペイン語の文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。											◎				
スペイン語講読B*	LANs300LA	—	—	春学期にひきつづき、新聞記事や小説など、さまざまなジャンルのスペイン語の文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。											◎				
第三外国語としての朝鮮語A*	LANK300LA	朝鮮語初級Ⅰ*	LANK200LA	・正確に発音できるようになること。 ・助詞と「ですます」を理解し、簡単な読み書きができるようになること。											◎				
第三外国語としての朝鮮語B*	LANK300LA	朝鮮語初級Ⅱ*	LANK200LA	・活用の基礎を身につけること。 ・簡単な文を作文できるようになること。											◎				

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																			
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。	I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。	II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。	III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。	IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。	V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈なかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。	VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。	VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。												
カリキュラム（科目一覧）																							
<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文</li> <li>＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営</li> <li>▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化</li> <li>★・・・法 ■・・・人間環境</li> <li>□・・・キャリアデザイン</li> </ul>																							
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																		
第三外国語としての朝鮮語中級*	LANK300LA	朝鮮語中級Ⅰ*	LANK200LA	基本会話ができること。																		◎	
—	—	朝鮮語中級Ⅱ*	LANK200LA	簡単な自分の感想が朝鮮語で話せることができます。																		◎	
日本語コミュニケーションA*	LANj300LA	—	—	文化とは何か、および文化が異なるとはどういうことか、について理解すること。																		◎	
日本語コミュニケーションB*	LANj300LA	—	—	文化の異なりについて理解し、その壁を乗り越えてコミュニケーションを成立させる能力を培うこと。コミュニケーションが成立しないときには、相手との協力のもと、関係を修復できる知識と能力を身に付けること。																		◎	
教養ゼミⅠ (Issues in Modern Japanese Society) *	LANe300LA	—	—	This intermediate to advanced English course (Level 4) examines various important issues in modern Japanese society. Students will learn about different societal problems facing Japan and to give their own opinion in English.																		◎	
教養ゼミⅡ (Issues in Modern Japanese Society) *	LANe300LA	—	—	This intermediate to advanced English (Level 4) course examines various current issues related to modern Japanese society. Students will learn to give their own opinion in English, discuss various topics, and argue a point using different perspectives.																			◎
教養ゼミⅠ（ドイツ語講読：『グリム童話』をドイツ語で読む）*	LANd300LA	ドイツ語講読Ⅰ*	LANd300LA	初等文法を終えたドイツ語の読解力が中級程度の力をつけ、ドイツ語表現をより深く理解し、また、音韻読解、言語表現、文章理解の能力を高めることを目標とします。さらに意味の理解から書かれた作品の鑑賞や批評にまで至るようになることが第二の目標です。ドイツの文学作品(カフカ、ルルケ)、モーツァルトの手紙、グリム童話、『アルプスの少女ハイジ』、ことわざなどを通して多角的にドイツの文化風土とドイツ語の美しさを知るのが第三の目標です。																			◎
教養ゼミⅡ（ドイツ語講読：『グリム童話』をドイツ語で読む）*	LANd300LA	ドイツ語講読Ⅱ*	LANd300LA	専攻期に学んだことを踏まえ、初等文法を終えたドイツ語の読解力が中級程度の力をつけ、ドイツ語表現をより深く理解し、また、音韻読解、言語表現、文章理解の能力を高めることを目標とします。さらに意味の理解から書かれた作品の鑑賞や批評にまで至るようになることが第二の目標です。ドイツの文学作品(カフカ、ウェルン、ヌースキント、マン)、大衆文化の発展などを通じてドイツの文化風土とドイツ語の美しさを知るのが第三の目標です。																			◎
教養ゼミⅠ（フランス語圏文化への招待①）*	ARSa300LA	—	—	1. フランスの地理、季節感、教育制度、食文化、政治制度、経済、芸術（ヴァカンス）の過ごし方、宗教、男女間の関係、フランス式のマナーなど、フランス社会で生活していくための基礎知識を、（専門家としてではなく教養として）ある程度身に付けている。 2. 就職活動での面接などに際して、フランスについて語り得るテーマを何か一つもっている。																			◎
教養ゼミⅡ（フランス語圏文化への招待①）*	ARSa300LA	—	—	同上																		◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類											
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】<a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学の本質にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との鍛錬を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>				
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目											
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要											
教養ゼミⅠ（フランスの現代社会問題）*	ARs300LA	—	—	<p>Co cours, de type séminaire général, s'adresse à des étudiants confirmés, notamment à ceux qui reviennent de France ou à ceux qui vont y aller. Ce cours prépare directement à un séjour en université francophone (cf. la méthodologie de recherche) mais aussi aux examens de type DELF (niveau B1+) voire "Kentei-shiken". (この授業は中上級者向きです)</p>											◎
教養ゼミⅡ（フランス語圏文化への招待）*	ARs300LA	—	—	<p>Co cours s'adresse à des étudiants relativement confirmés (B1), notamment à ceux qui reviennent de France ou à ceux qui vont y aller. Il prépare aussi aux examens de type DELF ou "Kentei-shiken". Il prépare enfin à un séjour universitaire en France. Le plaisir de la lecture se doublera d'une meilleure compréhension et production de l'écrit, sans oublier l'oral. (この授業は中上級者向きです)</p>											◎
教養ゼミⅠ（中国の食文化）*	ARSe300LA	—	—	<p>映像資料の鑑賞・文献の講読や、中国の地理、地域の特徴、料理、調理方法、年中行事などへの調査を通して、多角的に食文化への理解を深めます。</p>											◎
教養ゼミⅡ（中国の食文化）*	ARSe300LA	—	—	同上											◎
教養ゼミⅠ（スペイン語圏の文化と社会を読み解く）*	ARs300LA	—	—	<p>この授業を通して、以下の能力を身につけることを目標とする。 ①スペイン語圏の文化と社会についての基礎的な知識を身につける。 ②①で得た知識をもとに、それぞれ関心のあるテーマを見つけ、それを論理的に説き及ぶ力をつける。 ③②から設定したテーマについてプレゼンテーションを行い、他者と議論するなかで理解を深めていく力を養う。 ④自分で選んだ研究テーマについて論文を作成する力を養う。</p>											◎
教養ゼミⅡ（スペイン語圏の文化と社会を読み解く）*	ARs300LA	—	—	同上											◎
健康・スポーツ科学系															
スポーツ科学A*	HSS300LA	スポーツ科学Ⅰ*	HSS200LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングの基礎的な理論と方法を習得する。</li> <li>・個々の目標達成に資する独自のトレーニングプログラムを考案する。</li> <li>・トレーニングが、身体的健康だけでなく心理的・社会的健康にも寄与する一手段となることを理解する。</li> </ul>											◎
スポーツ科学B*	HSS300LA	スポーツ科学Ⅱ*	HSS200LA	同上											◎
教養ゼミⅠ（トレーニングを科学する・Basic course）*	HSS300LA	スポーツ科学Ⅰ*	HSS200LA	<ol style="list-style-type: none"> <li>1: トレーニング器材を安全に使用できる</li> <li>2: トレーニング器材を応用した各種測定方法を利用できる</li> <li>3: 測定結果からトレーニング効果を評価できる</li> <li>4: 目的に応じたトレーニング方法を実践できる</li> <li>5: トレーニングの結果を正しく記録できる</li> <li>6: トレーニング効果を検証した学修過程を発表できる</li> </ol>											◎
教養ゼミⅡ（トレーニングを科学する・Advanced course）*	HSS300LA	スポーツ科学Ⅱ*	HSS200LA	<ol style="list-style-type: none"> <li>1: 目的に応じたトレーニング方法を実践できる</li> <li>2: 目標達成に資する段階的な計画表を作成できる</li> <li>3: 段階的な計画を実行できる</li> <li>4: 一定期間実践したトレーニング効果を検証できる</li> <li>5: 検証したトレーニング効果を発表できる</li> </ol>											◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																							
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a>				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。			I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。			II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。			III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。			IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。			V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での英語言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。			VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。			VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。		
カリキュラム（科目一覧）																											
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ■・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン																											
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																						
教養ゼミⅠ（脱運動不足と健康づくり・Basic course）*	HSS300LA	スポーツ科学Ⅰ*	HSS200LA	1: トレーニングの原理・原則を理解している 2: スマートホンのアプリケーションを使用して必要な測定ができる 3: ストレッチングを正しく行える 4: ジョギングまたはウォーキングを正しく行える 5: ストレングストレーニングを安全に行える 6: 実践した運動の効果測定を行うことができる 7: スポーツや運動の効果を説明できる 8: 実践した運動の効果をレポートにまとめられる														◎									
教養ゼミⅡ（脱運動不足と健康づくり・Advanced course）*	HSS300LA	スポーツ科学Ⅱ*	HSS200LA	1: 目的に応じた運動方法を実践できる 2: 目標達成に資する段階的な計画表を作成できる 3: 段階的な計画を実行できる 4: 一定期間実践した運動の効果を検証できる 5: 検証した運動の効果をレポートにまとめられる														◎									
基礎科目（GBP/SCOPE）※全在生学生共通																											
基礎科目																											
人文科学分野																											
Elementary Humanities A◆■	ART100LA			You will: - learn to recognize important works of Japanese art and representative examples of Japanese traditional music. - learn how to study a particular work in detail, situating it within the flow of Japan's cultural history, and analyzing its structural components. - gain a broad grasp of Japanese cultural history, including elements (such as various genres of performing arts) that are often lacking in courses on the Japanese arts.														◎									
Elementary Humanities B◆■	ARSA100LA			During this course, through regular exposure to a variety of audio-visual material, students will have the opportunity to sharpen their listening skills. Follow-up pair-work comprehension questions, discussion & structured conversation practice will also give them the opportunity to improve their oral skills. Finally students will be encouraged to reflect on their own culture & society as they learn about UK.														◎									
社会科学分野																											
Elementary Social Science A◆■	POL100LA	—	—	Students are expected to understand the basic concepts of international relations and use them as analytical tools to understand contemporary issues in East Asia through more insightful discussion and substantial dialogues.														◎									
Elementary Social Science B◆■	POL100LA	—	—	Students will have a firm understanding of the issues related to population, reproductive health, gender and youth, and how the United Nations works to alleviate these issues.														◎									
自然科学分野																											
Elementary Mathematics A◆■	MAT100LA	—	—	At the end of this course, students will demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.														◎									
Elementary Mathematics B◆■	MAT100LA	—	—	Students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.														◎									
アカデミックスキル																											
Academic Literacy A◆■	LANe100LA	—	—	Students learn the basics of library research, read academic texts, and listen to academic lectures, while practising critical thinking.  Please bring the results of any "Standardised Test" you have completed (e.g. TOEFL®, TOEIC®, IELTS® or Eiken) to the first class in April.														◎									

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。          ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。          【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）          大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野          文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野          1. 社会科学領域の学的基本に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野          自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野          情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野          英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。          1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野          英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野          1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要															
Academic Literacy B◆■	LANe100LA	—	—	Students continue to learn how to conduct library research, and read and listen to more advanced academic texts and lectures, while practicing critical thinking, note-taking, and referencing skills. Based on the class materials (e.g. readings, lectures) as well as individual research, students will develop the skills to participate in group discussions and give longer, well-supported presentations. Please bring the results of any "Standardized Test" you have completed (e.g. TOEFL®, TOEIC®, IELTS® or Eiken®) to the first class in April. Students who cannot sit and answer simple questions, in English, ARE NOT ELIGIBLE for this subject.													◎		
College Writing A◆■	LANe100LA	—	—	Students practice the writing process such as: choosing a topic, making outlines and editing drafts.													◎		
College Writing B◆■	LANe100LA	—	—	Students practice writing various kinds of essays (e.g. comparative essays, cause/effect essays, etc.) based on individual research, while learning how to construct essay structures and to reference source materials by reading various model essays. Please bring the results of any "Standardized Test" you have completed (e.g. TOEFL®, TOEIC®, IELTS® or Eiken®) to the first class in April.													◎		
保健体育分野																			
Elementary Health and Physical Education ◆■	HSS100LA	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>Learning about various ways of exercising</li> <li>Understanding the basics of healthy lifestyle</li> <li>Learning about basic self control and its importance</li> <li>Exercising simple decision making, leadership, communication in a dependent, co-dependent environment</li> <li>Creating a demand for future self-education, self-development</li> </ul>														◎	
外国語科目																			
Elementary Foreign Languages A◆■	LANe100LA	—	—	By the end of the semester, students are expected to have gained basic language proficiency in Japanese equivalent to A1 in CEFR (the Common European Framework of Reference for Languages scale)														◎	
Elementary Foreign Languages B◆■	LANe100LA	—	—	同上														◎	
Elementary Foreign Languages C◆■	LANe100LA	—	—	同上														◎	
Elementary Foreign Languages D◆■	LANe100LA	—	—	同上														◎	
Elementary Foreign Languages E◆■	LANe100LA	—	—	同上														◎	
Elementary Foreign Languages F◆■	LANe100LA	—	—	同上														◎	
選択基礎科目																			



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類														
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部の教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>				<p>0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>	<p>I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>	<p>II. 社会科学分野 1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>	<p>III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>	<p>IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>	<p>V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>	<p>VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>	<p>VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（情報関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>							
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目														
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要														
Intercultural Communication A◆■	HIS200LA	—	—	<p>1. Students will understand the experiences of Asian Americans from the late 19th century to the present, from the disciplinary perspectives of history.</p> <p>2. Students will gain a basic understanding of political, economic as well as social history of the United States, with emphasis on racial, ethnic, and gender minorities as well as the social activist against them.</p> <p>3. Students will be able to locate the U.S. history in the global context.</p> <p>4. Students will develop skills to read, discuss, and write analytically and critically.</p>													◎	
Intercultural Communication B◆■	LNG200LA	—	—	<p>In this course, you will:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• cultivate your understanding of the relationships between culture, language, and literacy;</li> <li>• be able to analyze examples of and reasons for culture clashes and learn to use concepts such as stereotypes, generalizations, othering, and marginalization in your analysis;</li> <li>• be able to reflect on your intercultural experiences and identities using these concepts; and</li> <li>• be able to relate to others respectfully to come up with constructive solutions to cultural misunderstandings.</li> </ul>														◎
Intercultural Communication C◆■	POL200LA	—	—	<p>In this course, you will become able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning/function, and context;</li> <li>• become familiar with the notions of face and politeness;</li> <li>• collect and analyze authentic language samples;</li> <li>• understand cultural values and orientations behind language use in world languages.</li> </ul> <p>The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful and peaceful conflict resolutions.</p>														◎
Intercultural Communication D◆■	LNG200LA	—	—	<p>In this course, you will become able to 1) understand and appreciate artistic forms of language education; 2) understand social activism behind artistic expressions; and 3) participate in an art-based approach to language learning/teaching using your creativity. You will also reflect on your own reactions to an artistic approach to language education and social justice, and consider how this learning may influence your worldview.</p>														◎
言語教育（諸語）分野																		
Intercultural Communication E◆■	ARSA200LA	—	—	<p>The goal of this course is not to provide the students with cultural knowledge and cultural facts to be memorized but to provide an intercultural awareness and an analytical perspective. Students will develop intercultural skills and become well-versed in the ability to bring the culture of origin and the foreign culture into relation with each other; cultural sensitivity and the ability to identify and use variety of strategies for contact with those from other cultures. (Council of Europe, 2001, Common European Framework of Reference for Languages)</p>														◎
Intercultural Communication F◆■	ARSA200LA	—	—	<p>To understand the history, formation and development of French culture in North America.</p>														◎
Intercultural Communication G◆■	ARSe200LA	—	—	<p>The students will be able to have a clear image of Japan in various sociological aspects through the course, which will lead them to deepen their understanding of Japan and eventually to promote international exchange with Japanese people inside and outside of the campus.</p>														◎
Intercultural Communication H◆■	ARSe200LA	—	—	<p>At the end of this course, the students are expected to have a clearer and deeper understanding of Japanese culture and people, which eventually facilitates intercultural communication with Japanese people.</p>														◎
保健体育分野																		
Health and Physical Education◆■	HSS200LA	—	—	<p>The goals of this class are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>to understand menstrual function and women's physicality,</li> <li>to understand the concepts of reproductive health, rights, and freedom,</li> <li>to consider how we can empower girls and women, and</li> <li>to develop new ideas on health promotion for girls and women.</li> </ul>														◎
キャリア分野																		

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類															
<p>幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。            ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。            【参照先URL】 <a href="http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu">http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu</a></p>					<p>0. 導入科目分野（除情報学分野）            大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。</p>		<p>I. 人文科学分野            文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。</p>		<p>II. 社会科学分野            1. 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、もの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。</p>		<p>III. 自然科学分野            自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。</p>		<p>IV. 情報学分野            情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。</p>		<p>V. 英語分野            英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。            1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。</p>		<p>VI. 諸（外国）語分野            英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。</p>		<p>VII. 保健体育分野            1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを習得するための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。3. スポーツ活動を実践することによって、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。</p>	
カリキュラム（科目一覧）					<p>科目名凡例一覧（履修対象学部）            ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文            ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営            ▽・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化            ★・・・法 ■・・・人間環境            □・・・キャリアデザイン</p>															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要	<p>記号凡例            ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目</p>															
Career Development Skills◆■	CAR200LA	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>To be well prepared to work with Japanese.</li> <li>To understand what is happening in the various business sites.</li> <li>"Seeing is Believing" is adopted to approach on goal.</li> </ul>	◎															